

小学校第1学年 国語科年間指導計画

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
4		はるがきた	0～8	・友達の話に関心を持ち、これまでの経験をいかして、進んで話したり応答したりしようすることができる。	2	・友達の話に関心を持ち、これまでの経験をいかして、進んで話したり応答したりしようとしている。			○	観察			
				・互いの話に関心をもつことができる。		・互いの話に関心をもっている。		○		観察			
	さあ はじめよう	おはなしききたいな	9～11	・読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。	2	・教師の読み聞かせを聞いて、読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。	○			観察			【1時間代替】第1回
				・文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。		・教師の読み聞かせを聞き、自分の体験と結び付けて、感想をもっている。		○		観察			
		なんていおうかな	12・13	・身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。	2	・身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでい		○		観察			
				・丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うことができる。		・丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使っている。	○			観察			
		かくことなの	14・15	・姿勢や筆記具の持ち方を正しくして書くことができる。	1	・姿勢や筆記具の持ち方を正しくして書いている。	○			観察			
				・これまでの経験をいかし、自分の名前を書いたり好きなものを考えたりし、積極的に友達と交流しようすることができる。		・積極的に自分の名前を書いたり好きなものを考えたりし、これまでの経験をいかして友達と交流しようとしている。			○	観察			
		どうぞよろしく	16・17	・身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。	3	・身近なことや経験したことなどから自己紹介をするために必要な事柄を選んでい		○		観察			【1時間代替】第7回 P. 3
				・経験したことから書くことを見付け、伝えたい事柄を明確にすることができる。		・経験したことから自己紹介をするために必要な書くことを見付け、伝えたい事柄を明確にしている。		○		観察 記述内容			
		こんなものみつけたよ	18・19	・紹介したい事柄を積極的に選び、学習課題に沿って見付けたものをより分かりやすく紹介しようとする	2	・紹介したい事柄を積極的に選び、学習課題に沿って見付けたものをより分かりやすく紹介しようとしている。			○	観察			
				・身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。		・身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでい		○		観察			
		うたにうたえお	20～23	・姿勢や口形、発声や発音に注意して話することができる。	2	・姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。	○			観察			
				・長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付くことができる。		・長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付いている。	○			観察			

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
5	ことばのたいそう	こえにだしてよもう	24・25	・場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。	1	・「あさの おひさま」の場面の様子など、内容の大体を捉えている。		○		観察			
			26・27	・話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。	2	・話し手が知らせたいことを聞き落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。		○		観察			
			28・29	・音節と文字との関係に気付くことができる。		・音節と文字との関係に気付いている。	○			観察			
		ことばをさがそう		・身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。	2	・「あ・い・う・か」のつく言葉を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。	○			観察 記述内容			
		はなのみち	30～37	・興味をもって進んでお話の内容を捉え、友達と協力し、音読しようすることができる。		・興味をもって進んでお話の内容を捉え、学習課題に沿って友達と協力して音読しようとしている。			○	観察		・登場人物を確かめること。(小2) ・登場人物がしたことや言ったことが分かる言葉を見付けること。(小2) ・絵に描かれていることをてがかりにすること。(小2)	
				・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができる。	6	・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。	○			観察			
				・場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。		・くまさんの行動や場面の様子など、内容の大体を捉えている。		○		観察 記述内容			
	としよかんへいこう		38・39	・積極的に図書館について知ろうとし、学習課題に沿って読みたい本を見付けようすることができる。	2	・積極的に図書館について知ろうとし、学習課題に沿って読みたい本を見付けようとしている。			○	観察			
				・読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。		・読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。	○			観察			
	かきと		40・41	・平仮名を読み、書くことができる。	2	・平仮名を読み、書いている。	○			観察 記述内容			
	ぶんをつくろう		42・43	・語と語との続き方を丁寧に確かめながら、これまでの学習をいかして進んで文を書こうとすることができる。		・語と語との続き方を丁寧に確かめながら、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。			○	観察			
				・文の中における主語と述語との関係に気付くことができる。	4	・「―が―する。」の文型を通して主語と述語との関係に気付いている。	○			観察 記述内容			【1時間代替】 第18回 WB②P. 6-7
				・句点の打ち方を理解して文の中で使うことができる。		・句点の打ち方を理解して文の中で使っている。	○			記述内容			
				・語と語の続き方に注意することができる。		・語と語の続き方に注意している。		○		記述内容			
	ねことねっ		44・45	・促音の表記、助詞の「を」の使い方、句点の打ち方を理解し、文の中で使うことができる。	2	・促音の表記、助詞の「を」の使い方、句点の打ち方を理解し、文の中で使っている。	○			観察 記述内容			
6		わけをは	46・	・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くことができる。	2	・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。	○			観察			

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
		なそう	47	・相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えることができる。	1	・相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。		○		観察			【1時間代替】 第17回 P. 2
		おばあさんとお	48・49	・長音の表記、助詞の「へ」の使い方、句点の打ち方を理解し、文の中で使うことができる。	2	・長音の表記、助詞の「へ」の使い方、句点の打ち方を理解し、文の中で使っている。	○			観察 記述内容			
		あいうえおであそぼう	50～53	・進んで平仮名の五十音を確かめ、これまでの学習をいかして言葉遊びを楽しもうとすることができる。 ・平仮名を読み、書くことができる。 ・姿勢や口形、発声や発音に注意して話すことができる。	3	・進んで平仮名の五十音を確かめ、これまでの学習をいかして言葉遊びを楽しもうとしている。 ・平仮名を読み、書いている。 ・姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。	○		○				
		つぼみ	54～61	・積極的に説明の順序を捉えながら文章を読み、学習課題に沿って分かったことや考えたことを伝えようすることができる。 ・文の中における主語と述語との関係に気付くことができる。 ・事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。 ・文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。	8	・積極的に説明の順序を捉えながら文章を読み、学習課題に沿って分かったことや考えたことを伝えようとしている。 ・文の中における主語と述語との関係に気付いている。 ・くちばしとその働きを考えながら、内容の大体を捉えている。 ・文章の中のくちばしの働きに関する語や文を考えて選び出している。	○		○	観察 観察 観察 記述内容		・順序やわけに気を付けて読むこと。(小2)	
		おもちゃやと	62・63	・拗音の表記、句点の打ち方を理解し、文の中で使うことができる。	2	・拗音の表記、句点の打ち方を理解し、文の中で使っている。	○			観察 記述内容			
		おおきくなつた	64・65	・身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使うことができる。 ・観察したことを記録する文を書くことができる。 ・観察したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりすることができる。	4	・観察日記を書くのに必要な語句の量を増し、文章の中で使っている。 ・メモを見て、二つの作例の書き方から選んで観察記録を書いている。 ・観察したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりしている。	○	○		記述内容 観察 観察 記述内容		・経験したことから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にすること。(小2)	
		おおきなかぶ	66～77	・積極的に登場人物の行動を捉え、これまでの学習をいかして音読や劇遊びをしようすることができる。 ・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができる。 ・場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。	6	・積極的に登場人物の行動を捉え、これまでの学習をいかして音読や劇遊びをしようとしている。 ・言葉のくり返しやリズム、響きなどに気を付けて音読している。 ・場面の様子や登場する人物の順序や行動など、内容の大体を捉えている。	○		○	観察 観察 観察 記述内容		・人物がしたことや出来事を短い言葉で書き、お話の順につなげること。(小2)	

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
7		はをへをつかおう	78・79	・助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方を理解して文や文章の中で使うことができる。	3	・助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方を理解して文や文章の中で使っている。	○			観察 記述内容			【1時間代替】 第19回 WB②P. 8-9
		すきなこと、なめに	80～83	・粘り強く伝えたいことや表し方を考え、これまでの学習をいかして自分が好きなものとその理由を紹介しようとすることができる。 ・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くことができる。 ・身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。 ・相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えることができる。 ・語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。	7	・粘り強く伝えたいことや表し方を考え、これまでの学習をいかして自分が好きなものとその理由を紹介しようとしている。 ・言葉には、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。 ・自分の「すきなこと」を伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 ・相手に伝わるように、自分の「すきなこと」について、話す事柄の順序を考えている。 ・語と語や文と文との続き方に注意しながら、自分の「すきなこと」について分かるように書き表し方を工夫している。	○		○	観察 観察 観察 観察 記述内容		・「はじめ」に、何を知らせたいかを、「中」に、知らせたいことをくわしく、「おわりに」、まとめの言葉を書くこと。(小2)	
		おむすびころりん	84～91	・進んで昔話の内容を捉え、これまでの学習をいかして音読しようすることができる。 ・昔話の読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむことができる。 ・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができる。 ・場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。	5	・進んで昔話の内容を捉え、これまでの学習をいかして音読しようとしている。 ・「おむすびころりん」の読み聞かせを聞き、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。 ・定型による言葉の響きやリズムなどに気を付けて音読している。 ・場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。	○		○	観察 観察 観察 観察			
		こんなことがあったよ	92・93	・積極的に出来事や経験を思い出し、これまでの学習をいかして日記に書こうとすることができる。 ・経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。 ・文章に対する感想を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができる。	6	・積極的に出来事や経験を思い出し、これまでの学習をいかして日記に書こうとしている。 ・経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。 ・文章に対する感想を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。			○	観察 観察 記述内容 観察		・相手の考えを詳しく聞くために大事なことは何かを考えて質問すること。(小2) ・丁寧な言い方と、普通の言い方のどちらを使うとよいか、考えること。(小2)	
		となしなよかん	94・95	・図書館に行き、読みたい本を見付けることができる。	2	・読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。	○			観察			

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
9	ことばのたいそう	こえをあわせてよう	96・97	・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができる。	2	・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。	○			観察			
				・場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。		・場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。		○		観察			
		みんなにしらせよう	98・99	・伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫することができる。	2	・伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。		○		観察			
				・話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。		・話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。		○		観察			
		ことばをみつつけよう	100・101	・身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。	2	・身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。	○			観察			
				・積極的に言葉遊びに取り組み、これまでの学習をいかして自分でも言葉遊びを作成しようとするができる。		・積極的に言葉遊びに取り組み、これまでの学習をいかして自分でも言葉遊びを作成しようとしている。			○	観察			
	おはなしをたのしもう	やくそく	102～109	・進んで登場人物の行動を確かめ、学習の見通しをもって声に出してお話を楽しもうとすることができる。	8	・進んで登場人物の行動を確かめ、学習の見通しをもって声に出してお話を楽しもうとしている。			○	観察 記述内容			
				・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができる。		・会話文に気を付け、登場人物になったつもりで音読している。	○			観察			
				・場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。		・場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。		○		観察 記述内容			
				・場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。		・場面の様子に着目して、3匹の「あおむし」の行動を具体的に想像している。		○		観察 記述内容			
	かたかなをみつつけよう	110・111		・身の回りから片仮名で書く言葉を進んで見付け、これまでの学習をいかして簡単な文を書こうとすることができる。	2	・身の回りから片仮名で書く言葉を進んで見付け、これまでの学習をいかして簡単な文を書こうとしている。			○	観察			
				・片仮名を読み、書くとともに、片仮名の長音、拗音、促音、撥音などの表記を理解して文や文章の中で使うことができる。		・片仮名を読み、書くとともに、片仮名の長音、拗音、促音、撥音などの表記を理解して文や文章の中で使っている。	○			記述内容			
	よんでたしかめよう	うみのかくれんぼ	112～117	・学習課題に沿って、文章の中で大事な言葉を押さえながら読み、分かったことを進んで伝えようとするができる。	8	・学習課題に沿って、文章の中で大事な言葉を押さえながら読み、分かったことを進んで伝えようとしている。			○	観察			・誰が何をしたかや、何があったかを、順序に気を付けて読むこと。(小2) ・読んで分かったことと、自分の知っていることを比べること。(小2)
				・事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。		・何が、どこに、どのように書かれているか、情報と情報との関係について理解している。	○			観察 記述内容			
				・文の中における主語と述語との関係に気付くことができる。		・「～がかくれています。」という、主語と述語との関係に気付いている。	○			観察 記述内容			
				・事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。		・説明の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。		○		観察 記述内容			

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
				・文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。		・「うみのかくれんぼ」の中から、重要な語や文を考えて選び出している。		○		観察 記述内容			
		か ん ず じ と か	118 ～ 121	・第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書くことができる。	4	・第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書いている。	○			観察 記述内容			
10	おも い う か べ な が ら よ う	く じ ら ぐ も	6 ～ 18	・これまでの学習をいかして、想像力を広げて物語を読み、想像したことを友達に進んで伝えようとするができる。		・これまでの学習をいかして、想像力を広げて物語を読み、想像したことを友達に進んで伝えようとしている。			○	観察		・人物がしたことや様子を思い浮かべること。(小2)	
				・かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うことができる。		・かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。	○			記述内容			
				・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができる。	8	・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付け、子どもたちやくじらぐもの様子が伝わるよう音読している。	○			観察			
				・場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。		・場面の様子やくじらぐも、子どもたちの行動など、内容の大体を捉えている。		○		観察 記述内容			
				・場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。		・くじらぐもの様子子どもたちの行動を具体的に想像している。		○		観察 記述内容			
	ま ち が い を な お そ う	19		・助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使うことができる。	2	・助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。	○			記述内容			
				・文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正すことができる。		・文章を、読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正している。		○		観察 記述内容			
	く わ し く か こ う	し ら せ た い な 、 見 せ た い な	20 ～ 23	・学習の見通しをもち、知らせたいものを丁寧に観察し、見付けたことを文章にして積極的に伝えようとするができる。		・学習の見通しをもち、知らせたいものを丁寧に観察し、見付けたことを文章にして積極的に伝えようとしている。			○	観察		・話し合いしたいこと(話題)は何か、友達の考えのよいところや、自分の考えと同じところと違うところはどこか考えながら話し合うこと。(小2)	
				・助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うことができる。		・助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。	○			記述内容			
				・経験したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりすることができる。	10	・学校にいる生き物や、学校で見付けたものから書くことを見付け、必要な事柄を集めて、伝えたいことを明確にしている。		○		観察 記述内容			
				・語と語や文と文との続き方に注意しながら書き表すことができる。		・文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表している。		○		記述内容			
		か ん じ の こ と	24 ～ 27	・漢字の成り立ちに興味をもち、学習したことをいかして漢字を使った短い文を積極的に書くことができる。	6	・漢字の成り立ちに興味をもち、学習したことをいかして漢字を使った短い文を積極的に書くとしている。			○	観察 記述内容			

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
		はなし	27	・第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。		・第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。	○			観察			
		ことばをたのしもう	28・29	・長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付くことができる。	2	・長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付いている。	○			観察 記述内容			
11	せつめいする文しようにをよもう	じどう車くらべ		・自動車ごとに、「しごと」と「つくり」を結び付けながら内容を捉え、「はしご車」の仕組みについて進んで話し合おうとすることができる。		・自動車ごとに、「しごと」と「つくり」を結び付けながら内容を捉え、「はしご車」の仕組みについて進んで話し合おうとしている。			○	観察		・「まず」「次に」などの言葉を見付けて、順序を捉えること。(小2) ・絵や写真が、文章のどこを説明しているかを確かめること。(小2)	
			30～34	・事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。	7	・各自動車の「しごと」と「つくり」など情報と情報との関係について理解している。	○			観察 記述内容			
				・事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。		・事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。		○		観察 記述内容			
				・文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。		・「じどう車くらべ」に出てくる自動車の「しごと」や「つくり」に関わる文を考えて選び出している。		○		観察 記述内容			
	せつめいする文しようにをかこう	じどう車ずかんをつくろう		・分かりやすい説明の仕方について興味をもち、説明の順序に気を付けながら、進んで自動車図鑑を作ろうとすることができる。		・分かりやすい説明の仕方について興味をもち、説明の順序に気を付けながら、進んで自動車図鑑を作ろうとしている。			○	観察		・文章の組み立てと順序を考えて書くこと。(小2)	
			35～37	・事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。	5	・情報と情報との関係について理解し、「しごと」から「つくり」の順に書いている。	○			観察 記述内容			
				・事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。		・自動車の「しごと」と「つくり」が明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。		○		観察 記述内容			
	かたかなを		38・39	・片仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使うことができる。	2	・片仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使っている。	○			観察 記述内容			
	ともだちとはなして、おはなしをかこう	どんなおはなしができるかな		・物語を完成させるという見通しをもち、進んで友達に質問し、お話を書こうとすることができる。		・物語を完成させるという見通しをもち、進んで友達に質問し、お話を書こうとしている。			○	観察			
				・互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐことができる。		・互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。		○		観察			
			40～43	・話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。	6	・話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。			○	観察 記述内容			
				・句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うことができる。		・句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。	○			記述内容			
				・文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けることができる。		・文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けている。		○		観察 記述内容			

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
12	すきなところを見つけよう	たぬきの糸車	44～55	・これまでの学習をいかし、場面の様子に着目し、進んで好きな場面を音読しようすることができる。	8	・これまでの学習をいかし、場面の様子に着目し、進んで好きな場面を音読しようとしている。			○	観察			
				・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができる。		・好きな場面を、語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。	○			観察			
				・場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。		・場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている		○		観察 記述内容			
				・場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。		・それぞれの場面ごとに、たぬきやおかみさんの行動や思いを具体的に想像している。		○		観察 記述内容			
	日づけとよう日	56・57		・身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。	3	・日付や曜日に関わる言葉を増し、語彙を豊かにしている。	○			観察			
	てがみをかこう	てがみでしらせよう	58・59	・これまでの学習をいかし、書いた文章を積極的に見直しなが、身近な人に手紙を書こうとすることができる。	6	・これまでの学習をいかし、書いた文章を積極的に見直しなが、身近な人に手紙を書こうとしている。			○	観察 記述内容			
				・丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れることができる。		・丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて、文章を敬体で書いている。	○			観察			
				・語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。		・文と文との続き方に注意しながら、うれしかったことや楽しかったことが伝わるように書き表し方を工夫している。		○		観察			
				・文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすることができる。		・文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。		○		観察 記述内容			
	本はともだち	むかしはなしをよもう／おかゆのおなべ	60～73	・これまでの学習をいかし、積極的に世界の昔話を読み、感想をカードに書いて伝えようすることができる。	8	・これまでの学習をいかし、積極的に世界の昔話を読み、感想をカードに書いて伝えようとしている。			○	観察		・本を紹介するときは、書いた人と本の題名、どんな登場人物が出てきたか、どんなお話か、好きなところやお薦めしたいところを話すこと。(小2)	【1時間代替】 第11回 P. 8-9
				・読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。		・読書に親しみ、いろいろな本があることを理解している。	○			観察			【1時間代替】 第12回 P. 32-33
				・語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。		・文と文との続き方に注意しながら、「おはなしカード」の書き表し方を工夫している。		○		記述内容			
				・文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。		・友達の「おはなしカード」を読んで思ったことを共有している。		○		観察 記述内容			
1	なりきってよもう		74・75	・進んで詩の内容を捉え、これまでの学習をいかして音読を楽しもうとすることができる。	2	・進んで詩の内容を捉え、これまでの学習をいかして音読を楽しもうとしている。			○	観察			
				・場面の様子など、内容の大体を捉えることができる。		・場面の様子など、内容の大体を捉えている。		○		観察 記述内容			

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
	ことばのたいそう	くわしくきこう	76・77	・話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。	2	・話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。	○			観察 記述内容			
				・身近なことを表す語句の量を増し、話の中で使い、語彙を豊かにすることができる。		・身近なことを表す語句の量を増し、話の中で使い、語彙を豊かにしている。	○			観察 記述内容			
		うことばであそぼ	78・79	・身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。	2	・言葉には、一字あるいは二字加えたり濁点を加えたりすることで新たな言葉が生まれることに気づき、語彙を豊かにしている。	○			観察			
くらべてよう	どうぶつの赤ちゃん	80～89		・学習の見通しをもち、文章の内容を比べながら粘り強く読むことで、本から得たことを友達に知らせようとしてい	10	・学習の見通しをもち、文章の内容を比べながら粘り強く読むことで、本から得たことを友達に知らせようとしてい			○	観察		・大事な言葉や文を見付けること。(小2)	
				・共通、相違など情報と情報との関係について理解することができる。		・ライオンとしまうまの赤ちゃんの共通点、相違点について理解している。	○			記述内容			
				・読書に親しみ、いろいろな本があることを理解することができる。		・読書に親しみ、いろいろな本があることを理解している。	○			観察			
				・時間的な順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。		・ライオンとしまうまの赤ちゃんの成長の過程を考えながら、内容の大体を捉えている。		○		記述内容			
				・文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。		・赤ちゃんが成長していく過程での、重要な語や文を考えて選び出している。		○		記述内容			
				・文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。		・動物の赤ちゃんの本を読んで感じたことや分かったことを共有している。		○		観察 記述内容			
ことばって、おもしろいな	ものの名まえ	90～95		・学習の見通しをもって、言葉の上位語と下位語に関心をもち、言葉を集めて、進んで「おみせやさんごっこ」をしようとしてい	6	・学習の見通しをもって、言葉の上位語と下位語に関心をもち、言葉を集めて、進んで「おみせやさんごっこ」をしようとしてい			○	観察			
				・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすることができる。		・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしている。	○			観察 記述内容			
				・言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気付くことができる。		・言葉には、上位語と下位語があることに気付いている。	○			観察 記述内容			【1時間代替】 第7回 P. 16
				・互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐことができる。		・お店の人とお客さんの役になって、あいさつしたり、買い物したりして話をつないでいる。		○		観察			
	きいてたのしもう	わらしべちゃん	96・97	・昔話の読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむことができる。	1	・昔話の読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。	○			観察 記述内容			

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
2		かたかなのか	98・99	・片仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使うことができる。	3	・片仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使っている。	○			記述内容			

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
3		ことばあそびをつくらう	100～103	・身近なことを表す語句に積極的に関心を持ち、これまでの学習をいかして言葉遊びを楽しむことができる。	6	・身近なことを表す語句に積極的に関心を持ち、これまでの学習をいかして言葉遊びを楽しむとしている。			○	観察			
				・長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付くことができる。		・長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付いている。	○			観察 記述内容			
				・語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。		・語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。		○		観察 記述内容			
				・身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。		・身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにしている。	○			観察 記述内容			
	ふたりでかんがえよう	これはなんでしょう	104～107	・これまでの学習をいかし、二人で進んで話し合い、協力してクイズを作ろうとすることができる。	4	・これまでの学習をいかし、二人で進んで話し合い、協力してクイズを作ろうとしている。			○	観察			
				・身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。		・学校にあるものから話題を決め、問題を作るために必要な事柄を選んでいる。		○		観察 記述内容			【1時間代替】 第9回 P. 6
				・互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつなぐことができる。		・問題を話す順番を話し合うために、相手の発言を受けて話をつないでいる。		○		観察			
	よんでかんじたことをはなそう	ずうっと、ずうっと大すきだよ	108～119	・学習の見通しをもち、友達の考えや感想を知ろうとし、読んで感じたことを積極的に伝え合おうとすることができる。	8	・学習の見通しをもち、友達の考えや感想を知ろうとし、読んで感じたことを積極的に伝え合おうとしている。			○	観察 記述内容		・お話の、どの言葉や文から感想をもったかをはっきりさせること。(小2) ・友達の感想を聞いて、いろいろな感じ方や考え方があることを知ること。(小2)	
				・場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。		・場面の移り変わりに着目して、「ぼく」の行動や思いを具体的に想像している。		○		観察 記述内容			
				・文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。		・物語を読んで感じたことや分かったことを共有している。		○		観察 記述内容			
		かんじ	120・121	・第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。	3	・これまでの学習をいかし、進んで漢字の形に注意して書き、文を書くとしている。	○			記述内容			
	おもい出してかこう	いいこといっぱい、一年生	122～125	・これまでの学習や経験をいかし、事柄の順序に沿って構成を粘り強く考えながら、1年生の思い出を伝える文章を書こうとすることができる。	10	・これまでの学習や経験をいかし、事柄の順序に沿って構成を粘り強く考えながら、1年生の思い出を伝える文章を書こうとしている。			○	観察		・内容ごとにまとまりを作ること。(小2) ・書いた文章を読み返して、間違いがないか確かめること。(小2)	
				・経験したことから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたい事柄を明確にすることができる。		・一年間のできごとから書くことを見付け、必要な思い出を集め、伝えたいことを明確にしている。		○		記述内容			
				・自分の思いが明確になるよう、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。		・うれしかったことなどの思いが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。		○		記述内容			
		テスト		・単元末・学期末テスト	17	・既習内容を理解している。	○	○		ペーパーテスト			
総時間数(260)時間＋予備(12)時間							代替時数						9
代替時間を除いた総時間数 263時間													

小学校第2学年 国語科年間指導計画

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
4	ことばのじゆんどう	じゆらんぼうにな	14・15	・自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞くことができる。	1	・自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞いている。		○		観察			
	たのしくかこう	絵づきを見てみよう	16～18	・想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。	1	・想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。		○		観察 記述内容			
	どんなおはなしかをよみかめ	ふきのとう	19～32	・粘り強く登場人物の行動などの内容を捉え、学習課題に沿って音読を聞き合い、感想を伝え合おうとすることができる。	9	・粘り強く登場人物の行動などの内容を捉え、学習課題に沿って音読を聞き合い、感想を伝え合おうとしている。			○	観察 記述内容	・お話に出てくる人が、したことや言ったことを思い浮かべながら読むこと。(小1)	・したこと、言ったこと、気持ちを表す言葉に気を付けて、様子や気持ちを想像すること。(小3)	
				・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができる。		・会話に表れた思いや辺りの様子などに気を付けて音読している。	○			観察			
				・場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。		・場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。		○		観察 記述内容			
	本だちとも	図書館たん	32～35	・読書に親しみ、いろいろな本があることを理解することができる。	1	・読書に親しみ、いろいろな本があることを理解している。	○			観察			
	きとせいつのこ	春がいっぱい	36・37	・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くことができる。	2	・春を表す言葉にふれることで、言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気付いている。	○			観察 記述内容			
	思い出して書こう	日記を書こう	38・39	・進んで経験したことなどから伝えたいことを明確にし、学習の見通しをもって日記を書こうとすることができる。	4	・進んで経験したことなどから伝えたいことを明確にし、学習の見通しをもって日記を書こうとしている。			○	観察			【1時間代替】 第5回-① P. 44-47
				・言葉には、経験したことを伝える働きがあることに気付くことができる。		・日記を書くことで、言葉には、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。	○			観察 記述内容			【1時間代替】 第5回-② P. 47
				・経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にすることができる。		・経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にしている。		○		観察 記述内容			【1時間代替】 第3回-① P. 24-25
	だいじなことをおとさないように聞こう	ともだちはどこかな	40～44	・自分にとって必要なことを集中して粘り強く聞き取り、これまでの学習をいかして簡潔にメモしようすることができる。	5	・自分にとって必要なことを集中して粘り強く聞き取り、これまでの学習をいかして簡潔にメモしようとしている。			○	観察	・みんなに聞こえる声で、はっきりと話すこと。(小1) ・友達の話を確かめたり、わからないことを聞いたりすること。(小1)	・話の内容や、自分が知りたいことをはっきりさせること。(小3) ・知りたいことについて、どのように質問するとよいかを考えること。(小3)	
				・音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すことができる。		・音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。	○			観察			
				・話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えることができる。		・話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えている。		○		観察 記述内容			

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
5	じゅんじよに氣をつけて読もう	たんぼぼのちえ	45～55	・時間的な順序などを考えて内容を捉え、学習の見通しをもって、文章を読んで思ったことを進んで書こうとすることができる。	10	・時間的な順序などを考えて内容を捉え、学習の見通しをもって、文章を読んで思ったことを進んで書こうとしている。			○	観察	・説明の順序に氣を付けて読むこと。(小1)	・文章は、「はじめ」な「おわり」などの大きなまとまりに分けられ、大きなまとまりは、一つ、またはいくつかの段落でできていること。(小3) ・一つの段落には、それぞれ、ひとまとまりの内容が書かれていること。(小3) ・「問い」と「答え」に氣を付けると、文章全体の組み立てや、段落の中心を捉えることができること。(小3)	
				・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。		・たんぼぼがどんな知恵を働かせているか、情報と情報との関係について理解している。	○			観察 記述内容			
				・時間的な順序を考えながら、内容の大体を捉えることができる。		・たんぼぼの花の変化について、時間的な順序を考えながら、内容の大体を捉えている。		○		観察 記述内容			
				・文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。		・たんぼぼの知恵について、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。		○		記述内容			
	ていねいにかんさつして、きろくしよう	かんさつ名人になろう	56～61	・書くために必要な事柄を積極的に集めたり確かめたりし、今までの学習をいかして観察記録文を書こうとすることができる。	10	・書くために必要な事柄を積極的に集めたり確かめたりし、今までの学習をいかして観察記録文を書こうとしている。			○	観察 記述内容	・文章を書いたら間違いがないか読み返すこと。(小1) ・友達の文章を読んで、思ったことや分かったことを伝えること。(小1)		
				・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことができる。		・観察記録を書くことで語句の量を増し、語彙を豊かにしている。	○			観察 記述内容			
				・観察したことから書くために必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。		・観察したことから書くために必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。		○		観察 記述内容			
				・事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。		・様子や動きなど、観察したことによって簡単な構成を考えている。		○		観察 記述内容			
6	聞いていたの	いさばの白	62～64	・神話の読み聞かせを聞き、我が国の伝統的な言語文化に親しむことができる。	2	・神話の読み聞かせを聞き、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。	○			観察			【1時間代替】 第2回～② 再P. 7
		もつかん字	65・66	・第2学年までに配当されている漢字を読むことができるとともに、文や文章の中で使うことができる。	2	・第2学年までに配当されている漢字を読んだり、文や文章の中で使ったりしている。	○			観察 記述内容			【1時間代替】 第4回～①
	お話を読み、すきなどところをつたえよう	スイミー	67～80	・粘り強く場面の様子に着目して登場人物の行動を想像し、学習課題に沿って自分の好きな場面を伝え合おうとすることができる。	9	・粘り強く場面の様子に着目して登場人物の行動を想像し、学習課題に沿って自分の好きな場面を伝え合おうとしている。			○	観察	・登場人物がしたことや言ったことが分かる言葉を見付けること。(小2)	・登場人物の変化に氣を付けて読むこと。(小3)	
				・身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。		・人物の行動や気持ちを表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。	○			観察			
				・場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。		・スイミーがどんな人物で、どんなことをしたかなど、内容の大体を捉えている。		○		観察 記述内容			
				・場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。		・スイミーのしたことがわかる言葉に着目して、その行動を具体的に想像している。		○		観察 記述内容			
	かん字のひろ	1年生でな	81	・第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章で使うことができる。	2	・第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章で使っている。	○			観察 記述内容			

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
	あつめるときにつかおう	メモをとるとき	82・83	・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くことができる。	3	・メモを取ることで、言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。	○			観察 記述内容			
				・経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。		・経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。		○		観察 記述内容			
	組み立てを考えて書き、知らせよう	こんなものみつけたよ／【コラム】丸、点、かぎ	84～89	・事柄の順序に沿って簡単な構成を粘り強く考え、学習の見通しをもって、組み立てを考えて文章にまとめようすることができる。	10	・事柄の順序に沿って簡単な構成を粘り強く考え、学習の見通しをもって、組み立てを考えて文章にまとめようとしている。			○	観察 記述内容	・説明の順序に気を付けて分かりやすく書くこと。(小1) ・文章を書いたら、間違いがないか読み返すこと。(小1) ・友達の文章を読んで、思ったことや分かったことを伝えること。(小1)	・組み立てを考えて報告する文章を書くこと。(小3) ・内容や書き方について、どう思ったのかを詳しく伝えること。(小3)	
				・長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」「へ」「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して、文や文章の中で使うことができる。		・長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」「へ」「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して、文や文章の中で使っている。	○			観察 記述内容			【1時間代替】 第1回-② P. 10-13
				・事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。		・知らせたいことが分かりやすくなるように、「はじめ・中・おわり」の簡単な構成を考えている。		○		観察 記述内容			
				・文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。		・文と文との続き方に注意しながら、知らせたいことが分かりやすくなるように「中」の書き表し方を工夫している。		○		観察 記述内容			
				・文章に対する感想を伝え合うことができる。		・文章を読み、初めて知ったことなどの感想を見つけ、伝え合っている。		○		観察 記述内容			
	7	あいての考えを引き出すしつもんをしよう	90～93	・粘り強く話し手が知らせたいことを落とさないように聞き、学習課題に沿って質問をし合って考えをまとめようすることができる。	7	・粘り強く話し手が知らせたいことを落とさないように聞き、学習課題に沿って質問をし合って考えをまとめようとしている。			○	観察 記述内容	・みんなに聞こえる声で、はっきりと話すこと。(小1) ・友達の話を確かめたり、わからないことを聞いたりすること。(小1)	・話の内容や、自分が知りたいことをはっきりさせること。(小3) ・知りたいことについて、どのように質問するとよいかを考えること。(小3)	
				・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。		・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。	○			観察			
				・伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。		・「あったらいい」と思うものについて、絵をかいたり質問し合ったりして、くわしくはっきりさせている。		○		観察 記述内容			
				・話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。		・話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。		○		観察 記述内容			
	きせつのことば	夏がいっぱい	94・95	・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くことができる。	2	・夏を表す言葉にふれることで、言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気付いている。	○			観察			

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
		お気に入り／ミリーの本のすてきなぼうし	96～113	・進んで読書に親しみ、学習課題に沿ってお気に入りの本を紹介しようすることができる。 ・読書に親しみ、いろいろな本があることを理解することができる。 ・文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。	6	・進んで読書に親しみ、学習課題に沿ってお気に入りの本を紹介しようとしている。 ・読書に親しみ、いろいろな本があることを理解している。 ・友達の気に入った本の紹介を聞いて、感じたことや分かったことを共有している。	○		○	観察 記述内容	・昔話を読んで、すきなところを見付けること。(小1) ・読書カードを書いて、友達と交流すること。(小1)	・図鑑や科学読み物について、絵や写真、図などを使ったり、詳しく説明したりして、分かりやすく書かれていること。(小3) ・図鑑や科学読み物で何かを調べるときは目次や索引を使うとよいこと。(小3)	【1時間代替】 第6回-① 再P. 8 【1時間代替】 第7回-② 【1時間代替】 第8回-② 【1時間代替】 第9回-① 再P. 9
9	詩をたのしもう	雨のうた	114・115	・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができる。 ・文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。	2	・オノマトペのリズムや響きなどに気を付けて音読している。 ・詩を読んで感じたことや分かったことを共有している。	○			観察 観察			
	たいわのれんしゅう	ことばでみちあんない	116・117	・話す事柄の順序を粘り強く考え、学習課題に沿って道案内をしようすることができる。 ・相手に伝わるように、話す事柄の順序を考えることができる。 ・話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えることができる。	3	・話す事柄の順序を粘り強く考え、学習課題に沿って道案内をしようとしている。 ・相手に伝わるように、地図をもとに目的地に行くまでの道順を考えている。 ・話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えている。			○	観察 観察			
	せいかつの中で読もう	みの回りのものを読もう	118・119	・積極的に身の回りのものから重要な情報を読み取り、学習課題に沿って、考えを交流しようすることができる。 ・文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。	2	・積極的に身の回りのものから重要な情報を読み取り、学習課題に沿って、考えを交流しようとしている。 ・文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。			○	観察 観察 記述内容			
	書くときにつかおう	書いたら、見直そう	120・121	・長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」「へ」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うことができる。 ・文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすることができる。	2	・長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」「へ」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。 ・文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。	○		○	記述内容 観察 記述内容			
	かん字のひろば②	1年生でならったかん字	122	・第1学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	2	・第1学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	○			記述内容			
	読ん	ど		・文章と経験とを結び付けて感想をもち、学習の見通しをもって考えたことを進んで話そうとすることができる。		・文章と経験とを結び付けて感想をもち、学習の見通しをもって考えたことを進んで話そうとしている。			○	観察 記述内容	・順序やわけに気を付けて、説明する文章を読むこと。(小2)	・文章は、「はじめ」「なか」「おわり」などの大きなまとまりに分けられること。(小3) ・「問い」と「答え」に気を付けると、文章全体	

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
10	で考えたことを話そう	うぶつ園のじゅうい	123～134	・共通、相違、時間の順序など情報と情報との関係について理解することができる。	10	・時間の順序と筆者の仕事の内容との関係について理解している。	○			観察 記述内容		の組み立てや、段落の中心を捉えることができること。(小3)	
				・時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。		・時間的な順序を考えながら、筆者の仕事の大体を捉えている。		○		観察 記述内容			
				・文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。		・筆者の仕事と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。		○		観察 記述内容			
		かひたろかなの	135	・片仮名を読み、書くとともに片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うことができる。	2	・片仮名を読み、書くとともに片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。	○			記述内容			
		びことしばあうそ	136・137	・長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付くことができる。	2	・長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付いている。	○			観察			
		なかまのこことばと	138・139	・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすることができる。	2	・身近なことを表す語句を、上位・下位の概念に仲間分けし、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしている。	○			観察 記述内容			
	かんば字③のひろ	1年生でな	140	・第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	2	・第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	○			観察 記述内容			
	自分とくらべて手紙を書こう	お手紙	13～28	・場面の様子に着目して登場人物の行動を想像し、学習課題に沿って積極的に音読劇に取り組もうとすることができる。	12	・場面の様子に着目して登場人物の行動を想像し、学習課題に沿って積極的に音読劇に取り組もうとしている。			○	観察	・登場人物がしたことや言ったことが分かる言葉を見付けること。(小2) ・人物がした事や出来事を短い言葉でまとめること。(小2)	・場面と場面を比べて、人物の様子や出来事の違いと、その理由について考えること。(小3) ・物語を誰の立場から読み、出来事をどう捉えるかによって、物語に対する感想は違ってくること。(小3)	
				・会話に表れる心情などに気を付けて音読することができる。		・会話に表れる心情などに気を付けて音読している。	○			観察			
				・場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。		・場面ごとに、がまくんやかえるくんの行動を具体的に想像している。		○		観察 記述内容			
		主語と述語に	29・30	・文の中における主語と述語との関係に気付くことができる。	2	・文の中における主語と述語との関係に気付いている。	○			観察			【1時間代替】 第1回-① P. 20-21
		かん字の読み方	31～33	・第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で正しく使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で正しく使うことができる。	2	・使い方によって読み方が違う漢字を、文や文章の中で正しく使っている。	○			観察 記述内容			
	きとせつ3のこ	秋がいっぱ	34・35	・言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気付くことができる。	2	・秋を表す言葉にふれることで、言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気付いている。	○			観察			

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
11	みんなで話をつなげよう	そうだんにのってください	36～40	・相手の発言を受けて話をつなぎ、学習の見通しをもって、積極的に話し合おうとすることができる。	8	・相手の発言を受けて話をつなぎ、学習の見通しをもって、積極的に話し合おうとしている。			○	観察	・相手の考えを詳しく聞くために、大事なことは何かを考えて、質問すること。(小2) ・丁寧な言い方と、普通の言い方のどちらを使うとよいか考えること。(小2)	・話し合いの目的や進め方、自分の役割、友達と考えと同一ところ、違うところを考えながら話し合うこと。(小3)	
				・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。		・共通点や相違点など、グループ内での相互の考えについて理解している。	○			観察			
				・身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。		・学校やふだんの生活でのことから話題を決め、話し合うために必要な事柄を選んでいく。		○		観察 記述内容			
				・互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつなぐことができる。		・互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつないでいく。		○		観察 記述内容			
	せつめいのしかたに気をつけて読み、それをいかして書く	紙コップ花火の作り方／おもちゃの作り方をせつめいしよう	41～51	・事柄の順序に沿って構成を考え、学習課題に沿っておもちゃの作り方を説明する文章を粘り強く書くことができる。	14	・事柄の順序に沿って構成を考え、学習課題に沿っておもちゃの作り方を説明する文章を粘り強く書くこととしている。			○	観察	・順序やわけに気を付けて、説明する文章を読むこと。(小2) ・誰が何をしたかや、何があったかを、順序に気を付けて読むこと。(小2) ・読んで分かったことと自分の知っていることを比べること。(小2) ・「はじめ」「なか」「おわり」の組み立てを考えて書くこと。(小2) ・文章を書いたら、間違いがないか確かめること。(小2)	・題名や「はじめ」から、話題を確かめること。(小3) ・例を挙げる順序や写真の使い方など、筆者の例の書き方に気を付けること。(小3) ・内容のまとまりごとに、段落を分けること。(小3) ・例を挙げる順序や、絵や写真の示し方を工夫すること。(小3)	
				・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。		・おもちゃを作る順序など情報と情報との関係について理解している。	○			観察 記述内容			
				・事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。		・おもちゃの作り方の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。		○		観察 記述内容			
				・事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。		・おもちゃの作り方が分かりやすく伝わるように、作り方の順序に沿って簡単な構成を考えていく。		○		観察 記述内容			
				・内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。		・おもちゃの作り方のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。		○		記述内容			
	聞いて楽しもう	せかいーの話	54・55	・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにすることができる。	2	・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。	○			観察 記述内容			
				・昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむことができる。		・昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。	○			観察			【1時間代替】 第14回～② 再P. 11
				・第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。		・第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	○			記述内容			
	かん字の広場④	1年生でならったかん字	56	・第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	2	・第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	○			記述内容			

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
12	思い浮かべたことをもとに、お話をしよう	みきのたからもの	57～73	・登場人物の様子を具体的に想像することに積極的に取り組み、学習の見通しをもってお話を紹介する文章を書こうとすることができる。	10	・登場人物の様子を具体的に想像することに積極的に取り組み、学習の見通しをもってお話を紹介する文章を書こうとしている。			○	観察 記述内容			
				・場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。		・場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。		○		観察 記述内容			
				・場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。		・場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。		○		観察 記述内容			
				・文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。		・文の中における主語と述語との関係に気づいている。	○			観察 記述内容			
	組み立てを考えて、お話を書こう	お話のさくしやになろう	74～79	・事柄の順序に沿って構成を考え、学習課題に沿って積極的に物語を書こうとすることができる。	10	・事柄の順序に沿って構成を考え、学習課題に沿って積極的に物語を書こうとしている。			○	観察	・「はじめ」「なか」「おわり」の組み立てを考えて書くこと。(小2) ・文章を書いたら、間違いがないか確かめること。(小2) ・友達の文章を読んで、思ったことや分かったことを伝えること。(小2)	・物語の組み立てを考えて書くこと。(小3)	【1時間代替】 第4回-② P. 30-31
				・身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。		・場面の様子や人物の行動を表す言葉を知り、語彙を豊かにしている。	○			観察 記述内容			【1時間代替】 第9回-② P. 32-33
				・自分の思いが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。		・楽しいお話になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。		○		記述内容			
				・文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けすることができる。		・お話に対する感想を伝え合い、お互いの文章の内容や表現のよいところを見付けている。		○		観察 記述内容			
	きとせつ4のこ	冬がいつば	80・81	・言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気付くことができる。	2	・冬を表す言葉にふれることで、言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気付いている。	○			観察 記述内容			
				・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができる。		・オノマトペや言葉の響きなどに気を付けて音読している。	○			観察			
	詩の楽しみ方を見つけよう	ねこのこ／おとのはなび	82・83	・詩を読んで感じたことを共有することができる。	2	・詩を読んで感じたことを共有している。		○		観察 記述内容			
1	書かたかなばで	楽ことばを	84・85	・片仮名を書くとともに片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うことができる。	2	・片仮名を書くとともに片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。	○			観察 記述内容			
				・長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付くことができる。		・長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付いている。	○			観察 記述内容			
	だいじなことを知らせて	ロボット	87～97	・文章を読んで感じたことや分かったことを共有し、学習の見通しをもって、本を読んで分かったことを進んで説明しようすることができる。	12	・文章を読んで感じたことや分かったことを共有し、学習の見通しをもって、本を読んで分かったことを進んで説明しようとしている。			○	観察 記述内容	・文章のまとまりに気を付けること。(小2) ・絵や写真が、文章のどこを説明しているかを確かめること。(小2)	・説明する文章を読むときには、初めて知って驚いたこと、もっと知りたいと思ったことを見付けながら読むとよいこと。(小3)	
				・読書に親しみ、いろいろな本があることを理解することができる。		・読書に親しみ、いろいろな本があることを理解している。	○			観察 記述内容			
				・文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。		・文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。		○		観察 記述内容			

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
	う読み、			・文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。		・文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。		○		観察 記述内容			
	ことばについて考えよう	ようすをあらわすことば	98～101	・身近なことを表す語句の量を増して語彙を豊かにし、学習課題に沿って、積極的に様子を表す言葉を使って文を書こうとすることができる。	4	・身近なことを表す語句の量を増して語彙を豊かにし、学習課題に沿って、積極的に様子を表す言葉を使って文を書こうとしている。			○	観察			
				・言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気付くことができる。		・言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気付いている。	○			観察 記述内容			
				・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味によるまとまりがあることに気付く、語彙を豊かにすることができる。		・言葉には様子を表す言い方があることに気付く、語彙を豊かにしている。	○			観察 記述内容			
				・語と語や文と文との続き方に注意しながら、つながりのある文章を書くことができる。		・語と語や文と文との続き方に注意しながら、つながりのある文章を書いている。		○		観察 記述内容			
2	詩を作って、読み合おう	見たこと、かんじたこと	102・103	・経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、これまでの学習をいかして積極的に詩を書くことができる。	6	・経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、これまでの学習をいかして積極的に詩を書くこととしている。			○	観察 記述内容			
				・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことができる。		・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使っている。	○			記述内容			
				・経験したことや想像したことの中から書くことを見付け、短く書き表して、詩に書くことができる。		・経験したことや想像したことの中から書くことを見付け、短く書き表して、詩に書いている。		○		記述内容			
		カンジーはかせの 大はつめい	104・105	・第2学年までに配当されている漢字を読み、漸次書くことができる。	2	・第2学年までに配当されている漢字を読み、漸次書いている。	○			観察 記述内容			
	思いをつたえる手紙を書こう	すてきなところをつたえよう	106～110	・積極的に語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫し、これまでの学習をいかして手紙を書こうとすることができる。	10	・積極的に語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫し、これまでの学習をいかして手紙を書こうとしている。			○	観察 記述内容	・読む人に伝わるように、したこと、見たこと、言ったこと、聞いたこと、思ったことなどを詳しく書くこと。(小2) ・文章を書いたら、間違いがないか確かめること。(小2) ・友達の文章を読んで、思ったことや分かったことを伝えること。(小2)		
				・丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使うことができる。		・丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて手紙に書いている。	○			観察 記述内容			
				・経験したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めて、伝えたいことを明確にすることができる。		・この一年間をふり返り、友達のすてきなところを見付けて、伝えたいことを明確にして手紙を書いている。		○		観察 記述内容			
				・自分の思いが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。		・自分の思いが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。		○		観察 記述内容			

【1時間代替】
第10回-①
P. 26-27

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
				・文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすることができる。		・文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。		○		観察 記述内容			
	読んで、かんじたことをつたえ合おう	スーホの白い馬	111～130	・文章を読んで感じたことを積極的に共有し、学習の見通しをもって物語の感想を交流しようすることができる。 ・身近なことを表す語句の量を増すことができる。 ・場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。 ・文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。	14	・文章を読んで感じたことを積極的に共有し、学習の見通しをもって物語の感想を交流しようとしている。 ・お話を讀んだ感想を話したり、書いたりすることで語句の量を増している。 ・場面の移り変わりに沿って、スーホや白い馬など登場人物の行動を具体的に想像している。 ・文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。	○		○	観察 観察 観察 観察 記述内容 記述内容 記述内容	・お話にある言葉や絵から、人物がしたことや様子を考えること。(小2) ・人物が、そのことをしたり言ったりしたのはどうしてなのかを考えること。(小2) ・自分と似ているところや、違うところを考えること。(小2) ・自分だったらどうするかを考えながら読むこと。(小2)	・会話や行動から登場人物の性格を捉えること。(小3) ・他の人と見方を交流することで、人物に対する考えが深められること。(小3)	
3	かん字の広場⑤	1年生でならったかん字	131	・第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	2	・第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	○			記述内容			
	組み立てを考えて、はっぴょうしよう	楽しかったよ、二年生	132～135	・伝え合うために必要な事柄を選んで選び、これまでの学習をいかして経験したことを紹介しようすることができる。 ・姿勢や口形、発声や発音に注意して話することができる。 ・身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。 ・相手に伝わるように、経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えることができる。 ・伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫することができる。	8	・伝え合うために必要な事柄を選んで選び、これまでの学習をいかして経験したことを紹介しようとしている。 ・姿勢や口形、発声や発音に注意して、相手に伝わるように話している。 ・この一年間で心に残ったことから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 ・相手に伝わるように、経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。 ・伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。	○		○	観察 観察 観察 観察 記述内容 記述内容 観察	・順序に気を付けて話すこと。(小2) ・大事なことは何かを考えて、話したり聞いたりすること。(小2)	・相手や目的を考え、理由を挙げて話すこと。(小3) ・伝えたいことに合う理由や資料を選ぶこと。(小3)	
		二年生をふりかえつ	136	・経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にすることができる。	1	・経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にしている。		○		観察 記述内容			
		テスト		・テストをする。	11	・既習の学習内容を理解している。	○	○		ペーパーテスト			
総時間数(257)時間＋予備(23)時間							代替時数						
代替時間を除いた総時間数 265時間							15						

小学校第3学年 国語科年間指導計画

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
4	ことばのじゅんぶ うんどう	よく聞いて、じこ しょうかい	14・15	・相手を見て話したり聞いた りし、学習課題に沿って、積極的に自己紹介をしよう とすることができる。	1	・相手を見て話したり聞いた りし、学習課題に沿って、積極的に自己紹介をしよう としている。			○	観察			
	詩を楽しもう	どきん	16・17	・詩の構成や内容の大体を意識しながら音読 することができる。	1	・行末の擬態語や擬音語に気を付けて、内容の 大体を意識しながら音読している。	○			観察			
	楽しく書こう	わたしのさいこう の一日	18～20	・自分の考えとそれを支える理由や事例との関係 を明確にして、書き表し方を工夫することができる。	1	・自分の考えとそれを支える理由や事例との関係 を明確にして、書き表し方を工夫している。		○		観察 記述内容			
	登場人物の気持ちを たしあめ、そうぞう したことをつたえ合おう	春風をたどって	21～34	・進んで、登場人物の行動や気持ちなどについて 叙述を基に捉え、学習課題に沿って想像したことを 伝え合おうとすることができる。	8	・進んで、登場人物の行動や気持ちなどについて 叙述を基に捉え、学習課題に沿って想像したことを 伝え合おうとしている。			○	観察 記述内容	・登場人物のしたことや言ったことに気を 付けること。(小2) ・まわりの様子や、登場人物がしたことを想像 すること。(小2)	・登場人物の気持ちや考え方が表れてい る部分を見付けること。(小4)	
				・文章全体の構成や内容の大体を意識しながら 音読することができる。		・文章全体の構成や内容の大体を意識しながら 音読している。	○			観察			
				・登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述 を基に捉えることができる。		・登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述 を基に捉えている。		○		記述内容			
	本は友だち	図書館たんてい	35～37	・読書が、必要な知識や情報を得ることに役 立つことに気付くことができる。	1	・読書が、必要な知識や情報を得ることに役 立つことに気付いている。	○			観察 記述内容			
		国語辞典を使	38～40	・国語辞典の使い方を理解し使うことができる。	2	・見出し語の並びや、語の形について理解し、 国語辞典を使っている。	○			観察			
	漢字の広場①	2年生で習った 漢字	41	・第2学年までに配当されている漢字を書き、 文や文章の中で使うことができる。	1	・第2学年までに配当されている漢字を書き、 文や文章の中で使っている。	○			記述内容			
	きせつの言葉1	春のくらし	42・43	・語句の量を増やし、文章の中で使い、語彙を 豊かにすることができる。	2	・語句の量を増やし、文章の中で使い、語彙を 豊かにしている。	○			記述内容			

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
5	知りたいことを考えながら聞き、しつもんしよう	もっと知りたい、友だちのこと／【コラム】きちんとつたえるために	44～49	・積極的に質問しながら聞くことで話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、学習の見通しをもって、知らせたいことを話したり、知りたいことを質問したりしようすることができる。	6	・積極的に質問しながら聞くことで話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、学習の見通しをもって、知らせたいことを話したり、知りたいことを質問したりしようとしている。			○	観察 記述内容	・伝えたいことを、「いつ」「どこ」「だれ」「何」に気を付けて、詳しく思い出すこと。(小2) ・大事なことを落とさずに聞くこと。(小2) ・聞いたことを短い言葉でメモすること。(小2)	・聞きながらメモを取るときは、必要なことは何かを考え、大事な言葉を書くこと。(小4)	【1時間代替】 第1回-② 再P. 10 【1時間代替】 第2回-① P. 24-25 【1時間代替】 第11回-② P. 28-29
				・相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話することができる。		・相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。	○			観察			
				・日常生活の中から話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。		・学校や家での出来事、好きなことやもの、今ががんばっていることなどから、知らせたいことを決めている。		○		観察 記述内容			
				・必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつことができる。		・「いつ・どこで・だれが・何を」、「どのように」、「なぜ」などの質問があることを理解し、もっと知りたいことを考えながら聞き、質問している。 ・必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっている。		○		観察 記述内容			
	漢字の音	漢字の音	50・51	・第3学年までに配当されている漢字を読むことができる。	2	・漢字には音と訓があることを理解し、文の中で使い分けしている。	○			記述内容			
	漢字の広場	習った漢字	2年生で	52	1	・第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	○			記述内容			
	まとまりをとらえて読み、かんそうを話そう	文様／こまを楽しむ／【じょうほう】全体と中心	53～65	・段落相互の關係に着目しながら内容を捉え、学習課題に沿って、読んで考えたことを進んで文章にまとめようすることができる。	8	・段落相互の關係に着目しながら内容を捉え、学習課題に沿って、読んで考えたことを進んで文章にまとめようとしている。			○	観察 記述内容	・時間を表す言葉や順序を表す言葉に気を付けて読むこと。(小2) ・大事な言葉や文が何かを考えること。(小2)	・段落同士の關係を確かめ、筆者の考えを捉えること。(小4) ・中心となる語や文を確かめること。(小4)	
				・段落の役割について理解することができる。		・形式段落や、「初め」「中」「終わり」の役割を理解している。	○			記述内容			
				・全体と中心など情報と情報との關係について理解することができる。		・全体と中心など情報と情報との關係について理解している。	○			観察 記述内容			
				・段落相互の關係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との關係などについて、叙述を基に捉えることができる。		・「終わり」に書かれたまとめと「中」で書かれた事例との關係を捉えている。		○		記述内容			
				・目的を意識して、中心となる語や文を見付けることができる。		・中心となる言葉を確認しながら、「問い」に対する「答え」を見付けている。		○		記述内容			
6	相手に分かりやすく	気持ちを		・相手や目的を意識して、伝えたいことを明確にし、学習課題に沿って、丁寧な言葉を使って行事を案内する手紙を進んで書こうとすることができる。		・相手や目的を意識して、伝えたいことを明確にし、学習課題に沿って、丁寧な言葉を使って行事を案内する手紙を進んで書こうとしている。			○	観察 記述内容	・見たり聞いたり思い出ししたりして、書くことを決めること。(小2) ・書くもののことを、短い言葉や文でメモし、書きたいことをはっきりさせること。(小2) ・書いたものを読み返	・一人で考えたり、友達と話したりして、何について書くかを決めること。(小4) ・書くもののことを、短い言葉や文でメモし、伝えたいことの中心を明らかにすること。	

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
	9 うに、 あんないの手紙を書こ	こめて、「来てください」	66 ～ 69	・丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くことができる。	4	・丁寧な言葉を使って、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。	○			記述内容	言いたいことや読みにくいところを直すこと。(小2)	(小4) ・書いたものを読み返し、よりよい言葉や言い方がないかを考え、書いたものを整えること。(小4)	【1時間代替】 第12回-① P. 78
				・相手や目的を意識して、伝えたいことを明確にすることができる。		・誰に宛てて送るのかを意識し、行事や学習発表会などの案内の手紙を書いている。		○		記述内容			【1時間代替】 第12回-② P. 80
				・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。		・伝えることのメモを友達と読み合って間違いを正したり、行事の内容がよく分かるようになっているかを確かめたりしている。		○		記述内容			
	③ 漢字の広場	2年生で習った漢字	70	・第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	1	・第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	○			記述内容			
				・登場人物の気持ちの変化を想像し、学習課題に沿って、積極的に物語の感想を書こうとすることができる。		・登場人物の気持ちの変化を想像し、学習課題に沿って、積極的に物語の感想を書こうとしている。			○	観察 記述内容	・場面の様子や、登場人物の気持ちを想像すること。(小3)	・場面と場面を、結び付けたり比べたりして、気持ちの変化を捉えること。(小4)	
	登場人物のへんかについて話合おう	まいごのかぎ	71 ～ 90	・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。	6	・「まいごのかぎ」を読んで、様子や行動、気持ちや性格を表す語句に気付き、語彙を豊かにしている。	○			観察 記述内容			
				・登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。		・最初と最後の場面を比べて「りいこ」がどのように変わったか、叙述を基に具体的に想像している。		○		観察 記述内容			
				・登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。		・各場面の出来事と、その場面の「りいこ」の行動や様子、気持ちについて、叙述を基に捉えている。		○		記述内容			
	声に出して楽しもう	俳句を楽しむ	91 ～ 93	・易しい文語調の俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。	1	・易しい文語調の俳句や「いろは歌」を音読したり暗唱するなどしたりして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。	○			観察			
		こそあど言葉を使いこなそう	94 ・ 95	・指示する語句の役割について理解することができる。	2	・指示語の役割について理解し、自分と相手との距離を考えて、指示語を使い分けている。	○			記述内容			
	あつめて整理してつたえよう	引用するとき	96 ・ 97	・引用の仕方を学び、学習の見通しをもって、本などで調べたことを引用して積極的に文章を書くことができる。	3	・引用の仕方を学び、学習の見通しをもって、本などで調べたことを引用して積極的に文章を書くことができる。			○	観察 記述内容			
				・引用の仕方や出典の示し方を理解し、使うことができる。		・正しい引用の仕方や出典の示し方を理解し、使っている。	○			記述内容			
				・自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。		・自分の考えと、それを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。		○		記述内容			
7				・内容の中心が明確になるよう、文章の構成を考え、学習の見通しをもって、調べたことを報告する文章を積極的に書こうとすることができる。		・内容の中心が明確になるよう、文章の構成を考え、学習の見通しをもって、調べたことを報告する文章を積極的に書こうとしている。			○	観察 記述内容	・「初め」「中」「終わり」のまとまりに組み立てること。(小2) ・読み合って、思ったことなどを伝えること。(小2)	・まとまりごとに段落を分け、「初め」「中」「終わり」などの組み立てを考えること。(小4) ・感想を聞ときは、自分の考えが正しく伝わっているかどうか	

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
	つたえたいことをはっきりさせて、ほうこくする文章を書こう	仕事のくふう、見つけたよ／【コラム】符号など	98～103	・段落の役割について理解することができる。	10	・段落の役割について理解している。	○			観察 記述内容		を確かめること。(小4)	
				・改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つことができる。		・文が読みやすくなるように、文の中の意味の切れ目に句読点を打っている。	○			記述内容			
				・比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方を理解し、使うことができる。		・比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方などを理解し、使っている。	○			観察 記述内容			
				・相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。		・見付けた仕事の工夫について、友達が知っているかどうかを予想して、伝える内容を選んでいる。		○		記述内容			
				・書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。		・伝えたいことを内容のまとまりごとに分けて、書く内容の中心を明確にし、文章の構成を考えている。		○		記述内容			
	言葉2	夏のこと	104・105	・語句の量を増やし、文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。	2	・「夏」に関わる語句の量を増やし、文章の中で使って、語彙を豊かにしている。	○			記述内容			
				・進んで幅広く読書に親しみ、学習課題に沿って本で知ったことをクイズにしようすることができる。		・進んで幅広く読書に親しみ、学習課題に沿って本で知ったことをクイズにしようとしている。			○	観察 記述内容			
	本は友だち	本で知ったことをクイズにしよう／鳥になったきょうりゅうの話	106～117	・幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。	5	・図鑑や科学読み物の意味について理解し、それらの本を読み、必要な知識や情報を得ることに役立っていると気付いている。 ・目次や索引を使うことで、知りたい情報を早く得られることを理解している。	○			観察 観察	・本を紹介するときに、書いた人と本の題名、どんな登場人物が出てきたか、どんなお話か、好きなところやお薦めしたいところを話すこと。(小2)	・ノンフィクションには、様々な内容のものがあり、事実の取り上げ方の違いなどに着目すると選びやすいということに気付くこと。(小4) ・本を読んだり、紹介し合ったりすることによって、新しい知識を得ることができ、自分の興味を広げることができるといいうことに気付くこと。(小4)	
				・文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くことができる。		・本を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方に違いがあることに気付いている。		○		観察 記述内容			

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
9	詩を味わおう	わたしと小鳥とすずと／夕日がせなかをおしてくる	118～121	・文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。	2	・「わたしと小鳥とすずと」と「夕日がせなかをおしてくる」を読んで理解したり、2つの詩を比較したりしたことに基づいて、感想や考えをもっている。		○		記述内容			
				・文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くことができる。		・連と連との関係に着目し、2つの詩の似ているところや違うところについて話し合い、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。		○		観察 記述内容			
	対話の練習	こんな係がクラスにほしい	122・123	・互いの意見の共通点や相違点に着目し、学習の見通しをもって、積極的にグループで話し合おうとすることができる。	3	・互いの意見の共通点や相違点に着目し、学習の見通しをもって、積極的にグループで話し合おうとしている。			○	観察 記述内容			
				・比較や分類の仕方を理解し使うことができる。		・観点を意識して、比較、分類している。	○			観察 記述内容			
				・目的や進め方を確認して話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。		・目的に沿って、大事なことの順番を考えることを意識して、考えをまとめる話し合いをしている。		○		観察			
	生活の中で読もう	ポスターを読もう	124～127	・比較や分類の仕方を理解し使うことができる。	2	・2つのポスターの同じところ、どちらかだけにあるところ、示され方が違うところをノートにまとめている。	○			記述内容			
				・文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。		・2つのポスターを比べて理解したことに基づき、感想や考えをもっている。		○		記述内容			
	書くときに使おう	書くことを考えるときは	128・129	・比較や分類のしかたを理解し使うことができる。	2	・比較や分類のしかたを理解し使っている。	○			記述内容			
				・相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。		・相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。		○		記述内容			
		漢字の組み立て	130～133	・漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解することができる。	3	・漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解している。	○			記述内容			
		ローマ字	134～138	・日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書くことができる。	4	・日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。	○			記述内容			

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
10	場面をくくられながら読み、感想を書こう	ちいちゃんのかげおくり	13～30	・登場人物の気持ちの変化について場面の移り変わり結び付けて具体的に想像し、学習課題に沿って、物語を読んだ感想を進んでまとめようすることができる。	10	・登場人物の気持ちの変化について場面の移り変わり結び付けて具体的に想像し、学習課題に沿って、物語を読んだ感想を進んでまとめようとしている。			○	観察 記述内容	・場面の様子や、登場人物の気持ちを想像すること。(小3) ・登場人物の変化に気を付けて読むこと。(小3)	・読んだ文章に対する印象や考えは、着目する言葉や、その人が文章をどう受け止めたかによって変わってくる。(小4)	
				・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。		・「ちいちゃんのかげおくり」を読んで、様子や行動、気持ちや性格を表す語句に気付き、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。	○			観察 記述内容			
				・登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。		・「ちいちゃん」の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。		○		観察 記述内容			
				・文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。		・第一場面と第四場面の「かげおくり」の共通点や相違点について、具体的に想像している。				記述内容			
				・文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くことができる。		・第一場面から第四場面と、第五場面の相違点や、第五場面の役割について考えている。 ・場面の様子を比べて理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。		○		観察 記述内容			
	修飾語を使う書	31～33		・主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係について理解することができる。	2	・主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係について理解している。	○			記述内容			
				・言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解することができる。		・言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解している。	○			記述内容			
	言葉のきせつ	秋のくらし	34・35	・語句の量を増やし、文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。	2	・語句の量を増やし、文章の中で使い、語彙を豊かにしている。	○			記述内容			
	進行にそって、はんで話し合おう	おすすめのさつを決めよう	36～42	・目的や進め方を確認し、学習の見通しをもって、司会などの役割を果たしながら、進んでグループで話し合い、考えをまとめようすることができる。	8	・目的や進め方を確認し、学習の見通しをもって、司会などの役割を果たしながら、進んでグループで話し合い、考えをまとめようとしている。			○	観察 記述内容	・友達の話につなげて話すこと。(小2) ・自分の考えを話すときは、理由を言うこと。(小2)	・司会グループは、出された意見を黒板などで整理して進行すること。(小4) ・自分の立場を明らかにして、積極的に発言したり質問したりすること。(小4)	
				・比較や分類のしかたを理解し使うことができる。		・比較や分類のしかたを理解し使っている。	○			観察 記述内容			
				・目的を意識して、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。		・目的を意識して、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。		○		記述内容			
				・目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。		・それぞれの係の役割や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合っている。 ・互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。		○		観察 記述内容			

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度				
11	れいの書かれ方に気をつけて読み、それをいかして書こう	すがたをかえる大豆／食べ物 のひみつを教えます	43～55	・考えとそれを支える理由や事例との関係などについて叙述を基に捉えたり、それらを明確にして書き表し方を工夫したりし、学習課題に沿って、積極的に自分たちが見付けた文章の説明の工夫をいかした説明する文章を書こうとすることができる。	12	・考えとそれを支える理由や事例との関係などについて叙述を基に捉えたり、それらを明確にして書き表し方を工夫したりし、学習課題に沿って、積極的に自分たちが見付けた文章の説明の工夫をいかした説明する文章を書こうとしている。			○	観察 記述内容	・段落とその中心を捉えること。(小3) ・組み立てを考えて報告する文章を書くこと。(小3)	・段落相互の関係を確かめ、筆者の考えを捉えること。(小4) ・理由や例と、伝えたいこととの関わりが分かるように書くこと。(小4)	
				・考えとそれを支える理由や事例など、情報と情報との関係について理解することができる。		・考えと事例との関係について理解している。	○			記述内容			
				・比較や分類の仕方、辞書の使い方を理解し、使うことができる。		・比較や分類の仕方、辞書の使い方を理解し、使っている。	○			観察 記述内容			
				・段落相互の關係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。		・段落相互の關係に着目しながら、大豆の調理法や加工法、栽培方法などについて、叙述を基に捉えている。		○		記述内容			
				・書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の關係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。		・すがたを変えて食品になる材料について文章を書くとき、事例の關係に注意しながら、文章構成を考えている。		○		記述内容			
				・自分の考えとそれを支える理由や事例との關係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。		・伝えたいことに合わせて、分かりやすい事例の挙げ方になるように工夫して文章を書いている。		○		記述内容			
	つたわる言葉	ことわざ・故事成語	56～59	・ことわざや故事成語の意味を理解し、学習課題に沿って、積極的に調べたことをまとめて書こうとすることができる。	4	・ことわざや故事成語の意味を理解し、学習課題に沿って、積極的に調べたことをまとめて書こうとしている。			○	観察 記述内容			
				・長い間使われてきたことわざや故事成語の意味を知り、使うことができる。		・長い間使われてきたことわざや故事成語の意味を知り、使っている。	○			観察 記述内容			
	声に出して楽しもう	漢字の意味	60・61	・漢字と仮名を用いた表記を理解して文や文章の中で使うことができる。	2	・漢字と仮名を用いた表記を理解して文や文章の中で使っている。	○			記述内容			
		短歌を楽しむ	62・63	・易しい文語調の短歌を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。	1	・易しい文語調の短歌を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。	○			観察			
	漢字の広場④	2年生で習った漢字	64	・第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	1	・第2学年で学習した漢字を使って文章を書いている。	○			記述内容			

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
12	登場人物の行動や気持ちを捉えよう、えらんだ民話をしようかい	三年とうげ	65～80	・登場人物の行動や気持ちなどについて、積極的に叙述を基に捉え、学習課題に沿って民話や昔話を紹介しようことができる。	6	・登場人物の行動や気持ちなどについて、積極的に叙述を基に捉え、学習課題に沿って民話や昔話を紹介しようとしている。			○	観察 記述内容	・場面の様子や、登場人物の気持ちを想像すること。(小3) ・物語に対する感想をもつこと。(小3)	・話の組み立てを捉えながら読むこと。(小4) ・場面の移り変わりに気を付けて読み、登場人物の気持ちや考え方が表れている部分を結び付けたり関係付けたりして、どう変化したのかを想像すること。(小4)	
				・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。		・「三年とうげ」を読んで、様子や行動、気持ちや性格を表す語句に気付き、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。	○			記述内容			
				・登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。		・「おじいさん」の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。 ・「始まり」「出来事が起こる」「出来事が解決する」「むすび」などの観点をもとに、「三年とうげ」の組み立てを捉えている。		○		記述内容 記述内容			
				・登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。		・「おじいさん」の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。		○		観察 記述内容			
	しょうかいする文を書き、感想をつたえ合おう	わたしの町のよいところ	81～85	・自分の考えとそれを支える理由の関係を明確にして、進んで書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって、紹介する文章を書こうとすることができる。	10	・自分の考えとそれを支える理由の関係を明確にして、進んで書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって、紹介する文章を書こうとしている。			○	観察 記述内容	・分かったことと考えたことを分けて書くこと。(小3) ・読む人に伝わるように、詳しく書いたり、絵や写真を使ったりすること。(小3) ・読み合って、思ったことなどを伝えること。(小2) ・自分の文章の良いところを見付けること。(小2)	・絵や写真、図表の使い方を工夫して書くこと。(小4) ・感想を聞くときは、自分の考えが正しく伝わっているかどうかを確かめること。(小4)	
				・様子や行動、気持ちを表す語句の量を増やし、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。		・紹介する文章の中で、様子や行動、気持ちを表す言葉を使っている。	○			記述内容			
				・相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。		・紹介したいものと、それにまつわる出来事を選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。		○		記述内容			【1時間代替】 第4回-① P. 72-75
				・自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。		・なぜそれを紹介したいのかを明確にして、題名や紹介したい理由の書き表し方を工夫している。		○		記述内容			
				・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。		・書いた文章を見直して、間違いを正したり、読む人に分かりやすく書けているかなどについて確かめたりして、文や文章を整えている。		○		記述内容			
				・書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章の良いところを見付けることができる。		・書いた文章を友達と読み合い、伝えたいことが明確になっているかなど、感想を伝え合っている。		○		観察 記述内容			
	4 きせつの言葉	冬のくらし	86・87	・語句の量を増やし、文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすることができる。	2	・語句の量を増やし、文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしている。	○			記述内容			

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
1	詩の楽しみ方を見つめよう	詩のくふうを楽しもう	88～91	・詩を読んで感想や考えをもち、今までの学習をいかして、積極的に詩のおもしろさを紹介する文章を書いたり、詩を創作したりしようすることができる。	4	・詩を読んで感想や考えをもち、今までの学習をいかして、積極的に詩のおもしろさを紹介する文章を書いたり、詩を創作したりしようとしている。			○	観察 記述内容			
				・文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。		・頭の字やリズム、繰り返しなどの表現を意識しながら、詩を音読している。	○			観察			
				・文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。		・文頭の字やリズム、繰り返しなどの表現、見た目、比喩などに着目して詩を読み、感想や考えをもっている。		○		記述内容			
	書くときに使う	四まいの絵を使って	92・93	・書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。	2	・書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。		○		記述内容			
	カンジーはかせの音訓		94・95	・第3学年までに配当されている漢字を読むことができる。また、第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第3学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うことができる。	2	・漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方を理解して、文や文章の中で使っている。	○			記述内容			
	漢字の広場⑤	2年生で習った漢字	96	・第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	1	・第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	○			記述内容			
	読んで考えたことをつたえ合おう	ありの行列	97～105	・一人一人の感じ方の違いに着目し、学習課題に沿って、科学読み物を読んだ感想を進んで伝え合おうとすることができる。	7	・一人一人の感じ方の違いに着目し、学習課題に沿って、科学読み物を読んだ感想を進んで伝え合おうとしている。			○	観察 記述内容	・段落とその中心を捉えること。(小3) ・話題と、例の書かれ方を捉えること。(小3)	・読んだ文章に対する印象や考えは、着目する言葉や、その人が文章をどう受け止めたかによって変わってくることに気付くこと。(小4) ・自分とは違う感想や考えに出会ったら、違いはどこから来ているのか、他の人の感じ方のよさは何かを考えると読んだ文章への理解が深まるといふことに気付くこと。(小4)	
				・指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解することができる。		・指示語や接続語に気を付けて読み、「問い」から「答え」までの論の進め方について理解している。	○			記述内容			
				・段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。		・段落相互の関係に着目しながら、「問い」と「答え」が、どの段落にどのように書かれているか、叙述を基に捉えている。		○		記述内容			
				・文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。		・「ありの行列」を読んでウイルソンの研究や蟻が行列を作る仕組みなどを理解し、そのことに対して感想や考えをもっている。		○		記述内容			
				・文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くことができる。		・友達と感想を読み合い、自分の考えと比べて似ているところや違うところなどを伝え合っている。		○		観察 記述内容			

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
2	言葉について考えよう	つたわる言葉で表そう	107～110	・相手に伝わる文章を書くための語句を進んで増やし、学習課題に沿って、伝えたいことを文章にしようすることができる。	5	・相手に伝わる文章を書くための語句を進んで増やし、学習課題に沿って、伝えたいことを文章にしようとしている。			○	観察 記述内容			
				・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くことができる。		・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付く、伝えたいことを言葉で表している。	○			記述内容			
				・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。		・様子や行動、表したい気持ちに合った言葉を選んで、冬休みの出来事を書いている。	○			記述内容			
				・自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。		・読む人に様子が思い浮かぶよう表現に気を付けたり、内容が伝わるような題名を付けたりして、冬休みの出来事について書き表し方を工夫している。		○		記述内容			
	書き表し方をくふうして、物語を書こう	たから島のぼうけん	111～115	・構成を工夫し、学習課題に沿って、積極的に物語を書こうとすることができる。	8	・構成を工夫し、学習課題に沿って、積極的に物語を書こうとしている。			○	観察 記述内容	・読み合って、思ったことなどを伝えること。(小2) ・民話や物語の組み立てを捉えること。(小3)	・感想を聞くときは、自分の考えが正しく伝わっているかどうか確かめること。(小4)	【1時間代替】 第6回-② P. 36-37
				・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。		・「言葉のたから箱」を参考に、場面の様子や登場人物の行動、気持ちが変わるような言葉を選んで使っている。	○			記述内容			【1時間代替】 第7回-② P. 38-39
				・書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。		・「始まり」「出来事が起こる」「出来事が解決する」「むすび」などのまとまりごとに内容を整理し、文章の構成を考えている。		○		記述内容			
				・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。		・主語と述語は合っているか、文字の間違いはないか、分かりやすい表現になっているかなどを確かめ、文や文章を整えている。			○	記述内容			
				・書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分や友達の文章のよいところを見付けすることができる。		・出来上がった物語を友達と読み合い、表現や組み立てについて感想を言うなどして、自分や友達の文章のよいところを見付けている。			○	記述内容 記述内容			
	つたえたいことを、理由をあげて話そう	お気に入り場所、教えます	116～120	・言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意し、学習の見通しをもって、グループで練習し、進んで発表しようすることができる。	8	・言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意し、学習の見通しをもって、グループで練習し、進んで発表しようとしている。			○	観察 記述内容	・「初め」「中」「終わり」など、話の順序を考えること。(小2) ・話す内容や相手に合わせて、声の大きさや速さを工夫すること。(小2) ・大事なことは何かを考えて話すこと。(小2)	・伝えたいことに合う理由や資料を用意すること。(小4) ・声の大きさや間の取り方などに気を付けて、大事なことが伝わるように話すこと。(小4) ・表やグラフなど資料を見せながら話すこと。(小4)	
				・相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すことができる。		・相手や場所、内容に合わせて、声の強弱や調子、間の取り方、言葉遣いに気を付けて話している。	○			観察			
				・丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら話することができる。		・発表原稿を書く際、丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意している。	○			記述内容			
				・相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができる。		・聞いている人に伝わるように、理由や資料などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の組み立てを考えている。			○	記述内容			【1時間代替】 第3回-① P. 51

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
				・話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。		・いちばん伝えたいところを意識して、声の強弱や調子、間の取り方などを工夫している。		○		観察			
3	登場人物について考えたことを、つたえ合おう	モチモチの木	121～136	・登場人物の性格について場面の移り変わりと結び付けて想像し、学習の見通しをもって、感じたことや考えたことをまとめて積極的に友達と伝え合おうとすることができる。	12	・登場人物の性格について場面の移り変わりと結び付けて想像し、学習の見通しをもって、感じたことや考えたことをまとめて積極的に友達と伝え合おうとしている。			○	観察 記述内容	・登場人物の変化に気を付けて読むこと。(小3) ・物語に対する感想をもつこと。(小3)	・場面の移り変わりに気を付けて読み、登場人物の気持ちや考え方が表れている部分を結び付けたり関係付けたりして、どう変化したのかを想像すること。(小4) ・自分とは違う感想や考えに出会ったら、違いはどこから来ているのか、他の人の感じ方のよさは何かを考えると読んだ文章への理解が深まるということに気付くこと。(小4)	
				・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。		・「モチモチの木」を読んで、様子や行動、気持ちや性格を表す言葉を見付けている。	○			記述内容			
				・登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。		・「豆太」と「じさま」の性格や気持ちの変化について、それぞれの場面での「豆太」と「じさま」の行動や会話と結び付けて具体的に想像している。		○		記述内容 記述内容			
				・文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。		・文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。		○		記述内容			
				・文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くことができる。		・「豆太」の気持ちの変化や性格について友達と話し合い、友達と自分の考えを比べ、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。		○		観察 記述内容			
	漢字の広場⑥	2年生で習った漢字	137	・第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	1	・第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	○			記述内容			
		三年生をふり返って	138	・経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。	1	・経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。		○		記述内容			
	テスト			・テストをする。	13	・既習の内容を理解している。	○	○		ペーパーテスト			
総時間数(208)時間+予備(2)時間							代替時数						
代替時間を除いた総時間数 201時間							9						

小学校第4学年 国語科年間指導計画

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
4	言葉のじゅんぴ運動	力を合わせてばらばらに	14・15	・積極的に、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、学習の見通しをもって、情報を集める話し合いをしようすることができる。	1	・積極的に、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、学習の見通しをもって、情報を集める話し合いをしようとしている。			○	観察			【1時間代替】 第1回-① P. 12-13
	詩を楽しむ	春のうた	16・17	・詩全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。	1	・「春のうた」の構成や内容を意識し、表現の仕方やリズムを楽しみながら、工夫して音読している。	○			観察			
	楽しく書こう	なりきって書いてみよう	18～20	・書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。	1	・書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。		○		観察 記述内容			
	ふしぎな出来事をとらえて読み、考えたことを話そう	白いぼうし	21～34	・登場人物の行動や気持ちなどについて叙述を基に捉え、学習課題に沿って、考えたことを積極的に話し合おうとすることができる。	7	・登場人物の行動や気持ちなどについて叙述を基に捉え、学習課題に沿って、考えたことを積極的に話し合おうとしている。			○	観察 記述内容	・登場人物のしたことや言ったこと、気持ちを表す言葉に気を付けること。(小3) ・話の組み立てを捉えながら読むこと。(小3) ・書かれていることと、自分が知っていることなどをつなげて、感想や考えをまとめること。(小3)	・人物の関係を、言動や心情が分かる表現から捉えること。(小5) ・人物の関係が変化するきっかけとなる出来事に着目すること。(小5)	【1時間代替】 第5回-② 再P. 23
				・文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。		・中心となる人物の様子を意識して音読している。	○			観察			
				・登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。		・場面ごとの松井さんや女の子の様子と行動を、叙述を基に捉えている。		○		記述内容			
				・文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。		・文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。		○		記述内容			
	本は友達	図書館の達人に	35～37	・幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。	1	・幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。	○			観察			
		漢字辞典の使い	38～41	・漢字辞書の使い方を理解し、使うことができる。	2	・漢字辞典の引き方や画数の数え方を理解し、漢字辞典を使用して調べている。	○			観察			
	きせつの言葉	春の楽しみ	42・43	・言葉には性質や役割があることを理解し、語彙を豊かにすることができる。	2	・春の風景や様子を表す言葉の意味や使い方を理解している。	○			記述内容			

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
5	大事なことを落とさずに聞こう	聞き取りメモのくふう／ たわること【コラム】話し方や聞き方から	44～49	・積極的に必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、学習課題に沿って、工夫してメモを取ったり、それを基に発表したりしようとするができる。	6	・積極的に必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、学習課題に沿って、工夫してメモを取ったり、それを基に発表したりしようとしている。			○	観察 記述内容	・話す人の方を見ながら聞くこと。(小3) ・どう質問するとよいかを考えること。(小3)	・相手の意図を捉えて、話の要点をまとめたり、内容を確認したりすること。(小5)	【1時間代替】 第10回-① P. 66
				・相手を見て話したり聞いたりすることができる。		・相手を見て話したり聞いたりしている。	○			観察			
				・比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方を理解し、使うことができる。		・話を聞きながら必要な語句を書き留めたり、集めた情報を比較したり分類したりしている	○			記述内容			
				・必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることができる。		・必要だと思ったことを記録したり、分からなかったり聞き取れなかったことなどを質問したりしながら聞いている。 ・話し手が伝えたいことや、自分が聞きたいことの中心を捉えている。		○		観察 記述内容			
	カンジイはかせの都道府県の旅 ¹	50・51		・第4学年までに配当されている漢字を読み、文や文章の中で使うことができる。	2	・第4学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使っている。	○			記述内容			
				・第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。		・第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	○			記述内容			
	漢字の広場①	3年生で習った漢字	52	・第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	1	・第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	○			記述内容			
				・考えとそれを支える理由や事例との関係などを捉え、学習課題に沿って、積極的に自分の考えを発表しようとすることができる。		・考えとそれを支える理由や事例との関係などを捉え、学習課題に沿って、積極的に自分の考えを発表しようとしている。			○	観察 記述内容	・題名や「初め」から、話題を確かめること。(小3) ・「中」の例と話題とのつながりや、段落の役割を考えること。(小3) ・書かれていることと、自分が知っていることなどをつなげて、感想や考えをまとめること。(小3)	・「初め」や「終わり」に書かれている筆者の考えから、要旨を捉えること。(小5) ・取り上げている事例や理由にも、筆者の考えが表れていること。(小5)	【1時間代替】 第7回-① 言技レッスン P. 68-69
	筆者の考えをとらえて、自分の考えを発表しよう	思いやりのデザイン／アップとルーズで伝える／【じょうほう】考えと例	53～65	・段落の役割について理解することができる。	8	・段落の役割について理解している。	○			観察 記述内容			
				・考えとそれを支える理由や事例との関係について理解することができる。		・筆者の考えと、それを支える理由や事例との関係について理解している。	○			記述内容			
				・段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。		・それぞれの段落に書かれている内容を叙述を基に捉えるとともに、筆者の考えが書かれた文と理由や事例が書かれた文とに分けて捉えている。		○		記述内容			
				・文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。		・文章の一部を引用して、分かったことや考えたことを書いたり話したりしている。		○		観察 記述内容			

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
6	気持ちの伝わる手紙を書こう	おれの気持ちを伝えよう	66～69	・書く内容の中心を明確にし、構成を考えることに進んで取り組み、これまでの経験をいかして、手紙を書こうとすることができる。	4	・書く内容の中心を明確にし、構成を考えることに進んで取り組み、これまでの経験をいかして、手紙を書こうとしている。			○	観察 記述内容	・「初め」「中」「終わり」などのまとまりに組み立てること。(小3) ・内容のまとまりごとに、段落を分けること。(小3) ・書いたものを読み返し、まちがいを直すこと。(小3)	・どこに何が書かれているかが分かりやすいように、段落の分け方を工夫すること。(小5) ・書いたものを読み返し、よりよい構成や表現がないかを考え、書いたものを整えること。(小5)	
				・丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くことができる。		・丁寧な言葉を使うとともに、敬体表現を使って手紙を書いている。	○			記述内容			
				・相手や目的を意識して、書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。		・おれを伝える相手や目的を意識して、書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。		○		記述内容			
				・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。		・書いた手紙を読み返し、間違いがないか、丁寧な言葉遣いになっているかなどを確かめている。		○		記述内容			
	漢字の広場②	3年生で習った漢字	70	・第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	1	・第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	○			記述内容			
	場面をくらべて読み、心にのこったことを伝え合おう	一つの花	71～84	・登場人物の気持ちの変化や性格、情景について場面の移り変わり結び付けて具体的に想像し、学習の見通しをもって、進んで物語の感想を書こうとすることができる。	7	・登場人物の気持ちの変化や性格、情景について場面の移りわりと結び付けて具体的に想像し、学習の見通しをもって、進んで物語の感想を書こうとしている。			○	観察 記述内容	・場面と場面のつながりを考えること。(小4) ・言動や心情を表す複数の表現から、人物像を想像すること。(小5) ・心情を情景によって想像させるなど、様々な表現の工夫に着目して読むこと。(小5)		
				・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。		・ゆみ子やお父さん、お母さんの行動や様子を表す言葉の使い方を理解している。	○			観察			
				・登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。		・ゆみ子やお父さん、お母さんの行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。		○		観察 記述内容			
				・登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移りわりと結び付けて具体的に想像することができる。		・お父さんの出征時の様子や情景、戦争後の暮らしの様子や情景などを、場面の移りわりと結び付けて具体的に想像している。		○		観察 記述内容			
		つながり言葉のはたらきを知ろう	85～87	・接続する語句の役割について理解することができる。	2	・接続する語句の役割について理解している。	○			記述内容			

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
		声に出して楽しもう	短歌・俳句に親しもう(一)	・易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。	1	・教科書に載っている短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。	○			観察 記述内容			
		集めて整理しよう	【じょうほう】要約するとき	・目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することができる。	2	・繰り返し出てくる言葉やまとまりの中心となる文、また、登場人物の行動や場面の变化を表す語や文などを見付けて要約している。		○		記述内容			【1時間代替】 第11回-② 再P. 24-26
7	見せ方を工夫して書く	新聞を作ろう／「コラム」アンケート調査の仕方	92～99	・相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、構成を考えて、学習課題に沿って、進んで学級新聞を作ろうとすることができる。	10	・相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、構成を考えて、学習課題に沿って、進んで学級新聞を作ろうとしている。			○	観察 記述内容	・一人で考えたり友達と話したりして、何について書くかを決めること。(小3) ・書くものについて、短い言葉や文でメモし、書きたいことをはっきりさせること。(小3) ・「初め」「中」「終わり」などのまとまりに組み立てること。(小3) ・内容のまとまりごとに、段落を分けること。(小3)	・目的や意図に応じて、読み手に伝えたい情報は何かを考えて、書く内容を絞ること。(小5) ・集めた情報の中から、伝えたいことに合う理由や根拠を選び、その適切さ確かめること。(小5) ・どこに何が書かれているかが分かりやすいように、段落の分け方を工夫すること。(小5) ・「初め」と「終わり」で自分の考えをはっきりと述べ、「中」でその理由や根拠を複数示しながら書くこと。(小5)	
				・比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方を理解し、使うことができる。		・取材の時の必要な語句などの書き留め方、取材した内容の比較や分類の仕方、引用する場合の方法や出典の示し方を理解し、適切に使って書いている。	○			記述内容			
				・相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。		・新聞のテーマを意識して、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。		○		記述内容			
				・書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。		・新聞のテーマを明確にし、内容ごとに記事を分けて割り付けたり写真や図などの配置を考えたりしている。		○		記述内容			
				・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えることができる。		・間違いを正したり、読みやすく分かりやすい表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えている。		○		記述内容			
		カンジーはかせの都道府県の旅2	100・101	・第4学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。	2	・第4学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使っている。	○			記述内容			
	季節の言葉2	夏の楽しみ	102・103	・言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすることができる。	2	・言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。	○			記述内容			

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
		本は友達	本のポップや帯を作ろう／神様の階段	104～115	5	・積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって、本をポップや帯で紹介しようとしている。 ・幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。 ・文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。	○		○	観察 記述内容 観察 記述内容 観察 記述内容	・図鑑や科学読み物では、取り上げる物事について、絵や写真、図などを使ったり、詳しく説明したりして、分かりやすく書かれていることに気付くこと。(小3) ・図鑑や科学読み物で何かを調べるときは目次や索引を使うとよいことに気付くこと。(小3)	・一人の作家でも、さまざまなテーマの本を書いていることがあり、複数の本を読むと、その作家の作品の魅力がよく分かることに気付くこと。(小5) ・好きな作家に着目することで、自分自身のことや、友達との共通点・異なる点に気付くこと。(小5)	【1時間代替】 第12回-① P. 100-101 【1時間代替】 第12回-②
9	詩を味わおう	忘れもの／ぼくは川	116～119	・詩全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。 ・詩を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。	2	・それぞれの詩で理解した「ぼく」の思いを意識しながら音読している。 ・詩を読んで「ぼく」の思いを理解し、感想や考えをもっている。	○		○	観察 記述内容			【1時間代替】 第4回-①
	対話の練習	あなたなら、どう言う	120・121	・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くことができる。 ・目的や進め方を確認して話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。	3	・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。 ・自分とは違う立場になって考えたことを話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。	○		○	観察 記述内容 観察 記述内容			【1時間代替】 第2回-① P. 14 【1時間代替】 第3回-① P. 15
	生活の中で読もう	パンフレットを読もう	122～125	・目的を意識して、中心となる語や文を見付けることができる。 ・パンフレットを読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。	2	・パンフレットを読むときには、知りたいことに合わせて、中心となる語や文を見付けている。 ・パンフレットを読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。		○	○	観察 記述内容			
	書くときに使おう	どう直したらいいかな	126・127	・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えることができる。 ・丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くことができる。	2	・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えている。 ・丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。		○	○	記述内容 記述内容			
		いろいろな言葉の意味をも	128・129	・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増すとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすることができる。	2	・動詞が様子や行動、気持ちや性格を表す語であることを理解している。 ・多義語の性質や意味を理解し、文や文章の中で使っている。	○			観察 記述内容 観察 記述内容			
		ローマ字を使いこなそう	130・131	・日常使われている簡単な単語について、ローマ字で書くことができる。	2	・日常使われている簡単な単語について、ローマ字で書いている。	○			記述内容			

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
	漢字の広場③	3年生で習った漢字	132	・第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	1	・第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	○			記述内容			
10	気持ちの変化に着目して読み、感想を書こう	「ごんぎつね」 【コラム】言葉を分類しよう	13～35	・学習の見通しをもって、読んで考えたことを積極的に話し合い、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付こうとすることができる。	12	・学習の見通しをもって、読んで考えたことを積極的に話し合い、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付こうとしている。			○	観察 記述内容	・場面と場面のつながりを考えること。(小4) ・特別な言葉に着目すること。(小4)	・読んだ感想や考えを伝え合い、互いの感じ方の違いを明らかにすることで、新たなものの見方・考え方に会えることができること。(小5)	
				・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。		・「ごんぎつね」を読んで、「ごん」や「兵十」の様子や行動を表す言葉、気持ちや性格を表す言葉を見付けている。	○			観察 記述内容			
				・登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。		・「ごん」や「兵十」の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。		○		観察 記述内容			【1時間代替】 第15回-①
				・文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。		・「ごんぎつね」を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。		○		記述内容			【1時間代替】 第15回-②
				・文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くことができる。		・「ごんぎつね」を読んで感じたことや考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方に違いがあることに気付いている。		○		記述内容			
		漢字を正しく使おう	36・37	・漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うことができる。	2	・漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使っている。	○			記述内容			
	季節の言葉	秋の楽しみ	38・39	・言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすることができる。	2	・言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。	○			観察			
	役わりをいしきしながら話し合おう	クラスみんなで決めるには	40～46	・学習の見通しをもって、進んで司会などの役割を果たしながら話し合い、考えをまとめようすることができる。	8	・学習の見通しをもって、進んで司会などの役割を果たしながら話し合い、考えをまとめようとしている。			○	観察 記述内容	・話し合いの目的や進め方、自分の役割などを考えながら話し合うこと。(小3) ・友達の考えと同じところや、違うところに気を付くこと。(小3)	・質問を通して互いの考えをよく聞き、共通点や異なる点をはっきりさせること。(小5) ・目的や条件、進行計画に沿って話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。(小5)	
				・比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方を理解し、使うことができる。		・出された意見について、同じ意見をまとめたり、理由や考えの中心点など必要な事柄を書き留めたりしている。	○			記述内容			
				・目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。		・議題について集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。		○		観察 記述内容			
				・目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。		・目的や進め方を確認し、司会・記録係・時間係などの役割を果たしながら話し合っている。 ・友達の意見との共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。		○		観察 記述内容			

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
11	中心となる語や文を見つけて要約し、調べたことを書こう	未来につながる工芸品／工芸品のみりよくを伝えよう	47～59	・学習の見通しをもって、進んで中心となる語や文を見付けて要約したり、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係の書き表し方を工夫したりして、調べて分かったことなどをまとめて書こうとすることができる。	12	・学習の見通しをもって、進んで中心となる語や文を見付けて要約したり、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係の書き表し方を工夫したりして、調べて分かったことなどをまとめて書こうとしている。			○	観察 記述内容	・筆者の考えを捉えること。(小4) ・事実を分かりやすく伝えること。(小4)	・「初め」や「終わり」に書かれている筆者の考えから、要旨を捉えること。(小5) ・取り上げている事例や理由にも、筆者の考えが表れていることに気付くこと。(小5) ・図表やグラフ、絵、写真などを、それぞれ文章と対応させて読むこと。(小5) ・筆者の考えと事例や資料が、どう結び付いているかを整理しながら読むこと。(小5) ・実際にあったことや、その記録(具体例・引用など)と、自分の考えを区別して書くこと。(小5) ・写真や図表と文章とを対応させて書くこと。(小5)	
				・段落の役割について理解することができる。		・筆者の考えが書かれている段落や、考えの理由を説明している段落など、段落の役割を理解している。	○			観察 記述内容			
				・幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。		・伝統工芸についての本を読み、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。	○			観察 記述内容			
				・書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。		・伝統工芸のよさについて、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり文章の組み立てを考えたりしている。		○		記述内容			
				・自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。		・自分の考えを分かりやすく説明するために、写真や絵などの資料を入れるといった工夫をしている。		○		記述内容			
				・段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。		・段落相互の関係に着目しながら、筆者の考えとその理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。		○		記述内容			
				・目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することができる。		・中心となる語や文を見付けて要約している。		○		記述内容			
	伝わる言葉	慣用句	60・61	・長い間使われてきた慣用句の意味を知り、使うことができる。	2	・長い間使われてきた慣用句の意味を知り、使っている。	○			観察 記述内容			
	声に出して楽しもう	短歌・俳句に親しもう(二)	62・63	・易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。	1	・易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。	○			観察			
	漢字の広場④	3年生で習った漢字	64	・第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	1	・第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	○			記述内容			

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
12	つながりを見つけたことを話し合おう	友情のかべ新聞	65～83	・積極的に登場人物の気持ちの変化や性格について、場面の移り変わりと結び付けながら想像して読み、学習の見通しをもって、おもしろいと思ったところを伝え合おうとすることができる。	8	・積極的に登場人物の気持ちの変化や性格について、場面の移り変わりと結び付けながら想像して読み、学習の見通しをもって、おもしろいと思ったところを伝え合おうとしている。			○	観察 記述内容	・場面と場面のつながりを考えること。(小4) ・特別な言葉に着目すること。(小4) ・話し合って、考えを深めること。(小4)	・言動や心情を表す複数の表現から、人物像を想像すること。(小5) ・心情を情景によって想像させるなど、様々な表現の工夫に着目して読むこと。(小5)	
				・登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。		・登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。		○		観察 記述内容			
				・登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。		・マーちゃんの気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。		○		観察 記述内容			
	理由や例を挙げて、考えを書こう	もしものときにそなえよう	84～89	・学習の見通しをもって、調べたことを基に自分の考えを書き、読み合って、進んで文章に対する感想や意見を伝え合おうとすることができる。	10	・学習の見通しをもって、調べたことを基に自分の考えを書き、読み合って、進んで文章に対する感想や意見を伝え合おうとしている。			○	観察 記述内容	・分かったことや考えたことを分けて書くこと。(小3) ・理由や例を挙げて考えを伝えること。(小4)	・実際にあったことや、その記録(具体例・引用など)と、自分の考えを区別して書くこと。(小5) ・写真や図表と文章とを対応させて書くこと。(小5) ・分かりやすいところや、説得力があると思った書き方を中心に伝え合うこと。(小5)	
				・相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。		・自然災害への備えについてテーマを決めて書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。		○		観察 記述内容			
				・自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。		・自然災害への備えで大切だと考えた理由や事例との関係を明確にして、自分の考えの書き表し方を工夫している。		○		記述内容			
				・書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができる。		・書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。		○		記述内容			
	④ 季節の言葉	冬の楽しみ	90・91	・言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすることができる。	2	・言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。	○			記述内容			
1	詩の楽しみ方を見つけよう	自分だけの詩集を作ろう	92・93	・学習の見通しをもって、集めた詩で詩集を作り、進んで読み合って感じたことや考えたことを共有しようすることができる。	4	・学習の見通しをもって、集めた詩で詩集を作り、進んで読み合って感じたことや考えたことを共有しようとしている。			○	観察 記述内容			
				・幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。		・テーマに沿った詩を読み、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。	○			観察 記述内容			
				・文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くことができる。		・完成した詩集を読み合い、テーマを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。		○		観察 記述内容			

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
	書くときに使う言葉	言葉から連想を広げて	94・95	・自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。	2	・自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。		○		観察 記述内容			
			96・97	・熟語の意味は、訓読みや組み合わせを手がかりにすれば分かることを理解することができる。	2	・熟語の意味は、訓読みや組み合わせを手がかりにすれば分かることを理解している。	○			記述内容			
			98	・第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	1	・第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	○			記述内容			
	きょうみをもったことを中心に、しようかいし	風船でうちゅうへ	99～112	・進んで、文章を読んで理解したことに基いて感想や考えをもち、学習課題に沿って、要約して紹介する文章を書くことができる。	8	・進んで、文章を読んで理解したことに基いて感想や考えをもち、学習課題に沿って、要約して紹介する文章を書くとしている。			○	観察 記述内容	・筆者の考えを捉えること。(小4) ・要約すること。(小4)	・自分の知識や経験と重ねながら読むことで、自分の考えを明確にすること。(小5) ・読んだ感想や考えを伝え合い、互いの感じ方の違いを明らかにすることで、新たなものの見方・考え方に会えること。(小5)	
				・目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。		・文章全体を読み、最も興味をもったことと中心となる語や文を見つけて要約している。		○		記述内容			
				・文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもつことができる。		・興味をもったことに沿って文章を読み、筆者の挑戦について感想や考えをもっている。		○		記述内容			
				・文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くことができる。		・文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。		○		記述内容			
	言葉について考えよう	つながりに気をつけよう	113～116	・主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割について進んで理解し、これまでの学習をいかして、つながりに気を付けて文章を書くことができる。	4	・主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割について進んで理解し、これまでの学習をいかして、つながりに気を付けて文章を書くとしている。			○	観察 記述内容			
				・主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割について理解することができる。		・主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割について理解している。	○			記述内容			
				・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えることができる。		・104ページの例文を、どう書き直せば読み手に分かりやすいかを考え、主語と述語を対応させたり内容の切れ目で文を分けたりして書き直している。		○		記述内容			

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
2	言葉を選んで詩を書き、友達と読み合おう	心が動いたことを言葉に	117～119	・学習の見通しをもって、心が動いたときのことを詩に書き、進んで間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりしようすることができる。	7	・学習の見通しをもって、心が動いたときのことを詩に書き、進んで間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりしようとしている。			○	観察 記述内容	・書いたものを読み返し、間違いや読みにくいところを直すこと。(小3)	・書いたものを読み返し、よりよい構成や表現がないかを考え、書いたものを整えること。(小5)	
				・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。		・様子や行動、気持ちや性格を表す語を文章の中で使っている。	○			観察 記述内容			
				・相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。		・心が動いた経験を思い出して、その時の思いを書き出している。 ・「心が動いたこと」というテーマを理解し、自分の思いや伝えたいことを明確にしている。		○		記述内容 記述内容			
				・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えることができる。		・間違いを正したり、「心が動いたこと」がよく分かる表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えている。		○		記述内容			
3	調べて分かったことを話そう	調べて話そう、生活調査隊	120～124	・進んで話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫し、これまでの学習をいかして、調査の報告をしようすることができる。	8	・進んで話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫し、これまでの学習をいかして、調査の報告をしようとしている。			○	観察 記述内容	・聞き手を見て、様子確かめること。(小3) ・声の調子や話す速さなどに気を付けること。(小3)	・目的や意図に合わせて、伝えたいことや自分の考えなどを観点に分けて書き出すこと。(小5) ・自分の体験や調べた事実など、具体的な理由を入れて話すこと。(小5) ・図表などを資料にまとめて提示すること。(小5)	
				・相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話そうことができる。		・言葉の抑揚や強弱、間のとり方などに注意して話している。	○			観察			
				・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。		・アンケート結果から考えたことと、それを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解してまとめている。	○			観察 記述内容			
				・目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。		・普段の生活に関する疑問をアンケートで調べ、アンケートを比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいく。		○		記述内容			
				・相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができる。		・アンケート結果を整理し、理由や事例などを挙げながら話の中心が明確になるよう話の構成を考えている。		○		記述内容			

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学校との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
	読んで考えたことを、友達と伝え合おう	スワンレイクのほとり	125～142	・進んで一人一人の感じ方に違いがあることに気づき、学習の見通しをもって、物語を読んで考えたことを伝え合おうとすることができる。	7	・進んで一人一人の感じ方に違いがあることに気づき、学習の見通しをもって、物語を読んで考えたことを伝え合おうとしている。			○	観察 記述内容	・話し合って、考えを深めること。(小4)	・自分の知識や経験と重ねながら読むことで、自分の考えを明確にすること。(小5) ・読んだ感想や考えを伝え合い、互いの感じ方の違いを明らかにすることで、新たなものの見方・考え方に会おうこと。(小5)	
				・登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像することができる。		・女の子の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。		○		観察 記述内容			
				・文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。		・「初雪のふる日」を読んで、理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。		○		観察 記述内容			
				・文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くことができる。		・「初雪のふる日」を読んで感じたことや考えたことを友達と共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。		○		観察 記述内容			
	漢字の広場⑥	3年生で習った漢字	143	・第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	1	・第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	○			記述内容			
		4年生をふり返って	144	・相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。	1	・相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。	○			記述内容			
	テスト			・テストをする。	13	・既習の内容を理解している。	○	○		ペーパーテスト			
総時間数(200)時間＋予備(10)時間							代替時数						
代替時間を除いた総時間数 198時間							12						

小学校第5学年 国語科年間指導計画

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学年との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
4	言葉のじゅんぽう運動	ひみつの言葉を引き出そう	18・19	・進んで自分が聞こうとする意図に応じて話の内容を捉え、学習の見通しをもって友達から「ひみつの言葉」を引き出せるように話そうとすることができる。	1	・進んで自分が聞こうとする意図に応じて話の内容を捉え、学習の見通しをもって友達から「ひみつの言葉」を引き出せるように話そうとしている。			○	観察			
	詩を楽しもう	かんがえるのっておもしろい	20・21	・「かんがえるのっておもしろい」に描かれていることを思い浮かべながら、詩を音読したり朗読したりすることができる。	1	・「かんがえるのっておもしろい」に描かれていることを思い浮かべながら、音読したり朗読したりしている。	○			観察			
	楽しく書こう	名前を使って、自己紹介／続けてみよう	22～24	・目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。	1	・目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。		○		記述内容			
	人物の心情や印象に残ったことを伝え合おう	銀色の裏地	25～38	・粘り強く登場人物の相互関係や心情を捉え、学習の見通しをもって印象に残ったことを伝え合おうとすることができる。	5	・粘り強く登場人物の相互関係や心情を捉え、学習の見通しをもって印象に残ったことを伝え合おうとしている。			○	観察	・登場人物の気持ちや考え方が表れている部分を見付けること。(小4) ・場面と場面、結び付けたり比べて、気持ちの変化を捉えること。(小4)	・人物の様子や行動を表す言葉、会話文などから、その人物のものの見方や考え方を想像すること。(小6) ・自分と比べながら読むことで、人物像を深く捉えること。(小6)	
				・情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。		・情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。	○			記述内容 観察			
				・登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる。		・登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。		○		記述内容			
				・比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。		・比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。	○			記述内容			
	本は友達	図書館を使いこなそう	39～41	・日常的に読書に親しみ、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気付くことができる。 ・新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。	1	・日常的に読書に親しみ、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気付いている。 ・新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	○			記述内容 観察			
		漢字の成り立ち	42・43	・漢字の由来、特質などについて理解することができる。	1	・漢字の成り立ちには、何かの形をえがいたもの、目に見えない事柄を記号などで表したもの、元の漢字の意味を組み合わせたもの、音を表す漢字と意味を表す部分を組み合わせたものがあることを理解している。	○			観察 記述内容			
	季節の言葉1	春の空	44・45	・親しみやすい古文や近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。	1	・親しみやすい古文や俳句を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。	○			観察			

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学年との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
5	話の意図を考えてきき合い、「きくこと」について考えよう	きいて、きいて、きいてみよう	46～50	・目的や意図に応じて話の内容を捉え、学習の見通しをもって、積極的にインタビューをしたり、報告し合ったりしようすることができる。	5	・目的や意図に応じて話の内容を捉え、学習の見通しをもって、積極的にインタビューをしたり、報告し合ったりしようとしている。			○	観察	・声の大きさや間の取り方などに気を付けて、大事なことが伝わるように話すこと。(小4) ・必要なことは何かを考えながら、大事な言葉をメモすること。(小4)	・聞いて、考えを深めること。(小6) ・目的や条件に応じて、計画的に話し合うこと。(小6) ・資料を使って、自分の考えや思いを効果的に伝えること。(小6)	
				・話し言葉と書き言葉との違いに気付くことができる。		・話し言葉と書き言葉との違いに気付いている。	○			観察 記述内容			
				・情報と情報との関係付けの仕方を理解し、使うことができる。		・友達への質問を考える際、情報と情報との関係付けの仕方を理解し、使っている。	○			観察 記述内容			
				・目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができる。		・目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。		○		観察			【1時間代替】 第14回-② P. 18-19
				・話し手の目的や自分が聞こうとすることができる意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。		・話し手の目的や自分が聞こうとすることができる意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。		○		観察			
	文章の要旨をとらえ、考えたことを伝え合おう	見立てる／言葉の意味が分かること／原因と結果	51～63	・文章全体の構成を捉えて要約し、学習課題に沿って、筆者の考えに対する自分の考えを積極的に伝え合おうとすることができる。	7	・文章全体の構成を捉えて要約し、学習課題に沿って、筆者の考えに対する自分の考えを積極的に伝え合おうとしている。			○	観察	・段落どうしの関係を確かめ、筆者の考えを捉えること。(小4) ・中心となる語や文を確かめること。(小4)	・文章全体の構成を確かめ、主張と事例が、それぞれの部分に書かれているかを捉えること。(小6) ・何のためにその事例が挙げられているのか、筆者の意図を考えること。(小6) ・筆者の主張を捉え、自分の経験や知識と重ね合わせながら自分の考えをもつこと。(小6)	
				・原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。		・事例に挙げられている原因と結果の関係について理解している。	○			観察 記述内容			
				・事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。		・事例と筆者の考えとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。		○		記述内容			
				・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。		・文章を読んで理解したことに基づいて、筆者の考えや事例の示し方に対する自分の考えをまとめている。		○		記述内容			【1時間代替】 第1回-② P. 20
				・文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。		・文章を読んでまとめた意見を友達と共有し、自分の考えを広げている。		○		記述内容			
6		敬語	64・65	・日常よく使われる敬語を理解し、使い慣れることができる。	2	・日常よく使われる「丁寧語」「尊敬語」「謙譲語」の使い方や意義を理解し、使い慣れている。	○			記述内容 観察			

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学年との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
7	表現を工夫して、俳句を作ろう	日常を十七音で	66～69	・構成や書き表し方に着目して文言を整え、学習課題に沿って、粘り強く俳句を作ろうとすることができる。	3	・構成や書き表し方に着目して文言を整え、学習課題に沿って、粘り強く俳句を作ろうとしている。			○	観察	・書いたものを読み返し、よりよい言葉や言い方がないかを考え、書いたものを整えること。(小4)	・伝えたい思いや、そのときの様子を思い出して、言葉を選んだり、並べ方を変えたりするなどの工夫をすること。(小6)	
				・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。		・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。	○			観察 記述内容			
				・俳句の構成や書き表し方などに着目して、文を整えることができる。		・季語を入れること、五・七・五の十七音にすることなどに気を付けて、俳句を作っている。		○		観察 記述内容			
	漢字の広場①	4年生で習った漢字	70	・第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	1	・第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	○			観察 記述内容			
	声に出して楽しもう	古典の世界(一)	71～75	・親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。	2	・教科書に載っている古文を音読して、現代語とは違う言葉の響きやリズムを味わっている。	○			観察			
				・古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方について知識を得ることができる。		・教科書の解説文を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方について理解している。	○			記述内容			
	集めて整理して伝えよう	目的に応じて引用するとき	76・77	・情報と情報との関連付けの仕方を理解し、使うことができる。	1	・多様な内容をまとめたり、一定のきまりを基に順序立てて系統化したりしている。	○			観察 記述内容			
				・自分の考えが伝わるように、引用するなど書き表し方を工夫することができる。		・自分の考えがよりよく伝わるように、書き留めた情報を引用するなど書き表し方を工夫している。		○		記述内容			【1時間代替】 第11回-② P. 68-69
	伝えたいことを整理して、報告しよう	みんなが使いややすいデザイン	78～83	・自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって、報告する文章を粘り強く書こうとすることができる。	7	・自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって、報告する文章を粘り強く書こうとしている。			○	観察	・理由や例と、伝えたいこととの関わりが分かるように書くこと。(小4) ・絵や写真、図表の使い方を工夫して書くこと。(小4) ・書いたものを読み返し、よりよい言葉や言い方がないかを考え、書いたものを整えること。(小4)	・現状や問題点を整理し、提案の理由を明確にした文章を書くこと。(小6) ・伝えたいことを明確にし、それが効果的に伝わる文章構成を考えること。(小6)	
				・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。		・調べたことを報告する文章の構成や展開の仕方、書き方について理解している。	○			観察 記述内容			
				・目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができる。		・目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。		○		観察 記述内容			
				・筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。		・伝えたいことが分かりやすく伝わるような文章構成を考えている。		○		記述内容			
				・引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。		・引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。		○		記述内容			
				・文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができる。		・報告する文章を読み合い、友達や自分の文章のよいところを見付けている。		○		観察 記述内容			

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学年との関連	ことば探究科で代替	
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度					
		同じ漢字読み方	84・85	・第5学年までに配当されている漢字を読んだり、文や文章の中で使ったりすることができる。	1	・第5学年までに習った漢字を文や文章の中で使っている。	○			観察 記述内容				
	季節の言葉2	夏の夜	86・87	・親しみやすい古文や近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。	1	・親しみやすい古文や俳句を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。	○			観察 記述内容				
	本は友達	作家で広げるわたしたちの読書／モモ	88～99	・積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって本の魅力を伝え合おうとすることができる。	5	・積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって本の魅力を伝え合おうとしている。			○	観察	・ノンフィクションには、様々な内容のものがあり、事実の取り上げ方の違いなどに着目すると選びやすいこと。(小4) ・本を読んだり、紹介し合ったりすることによって、新しい知識を得ることができ、自分の興味を広げていくことができること。(小4)	・本のテーマに着目すると、本が自分にとってどんな存在か、自分の考えをどう広げてきたかに気付くことができること。(小6) ・本との関わり方を交流することで、多様な見方や考え方に触れることができること。(小6)	【1時間代替】 第3回-① P. 100-101	
				・日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気付くことができる。		・作家に着目しながら読み広げることで、その作家の作品の魅力をより感じたり、自分自身のことや、友達との共通点・異なる点に気付いたりしている。	○			観察 記述内容				
				・文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめることができる。		・作家を決めて読書をし、その作家や作品の魅力を紹介カード等にまとめている。		○		記述内容				
				・文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。		・読んだ作品を紹介し合い、作家や作品の魅力について自分の考えを広げている。		○						
	9	詩を味わおう	かぼちゃのつるが／われは草なり	100～103	・比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。	2	・比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。	○			観察 記述内容			
					・詩の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。		・詩の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。		○					
		対話の練習	どちらを選びますか	104・105	・思考に関わる語句の量を増やし、話や文章の中で使うことができる。	2	・理由を示したり、複数の情報を比べたりする表現を使って、犬やねこを薦める意見を考えたり伝えたりしている。	○			観察			
					・互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。		・互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。		○		観察			【1時間代替】 第6回-① P. 16-17
生活の中で読もう	新聞を読もう	106～109	・必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりし、学習課題に沿って、進んで新聞記事を読もうとすることができる。	2	・必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりし、学習課題に沿って、進んで新聞記事を読もうとしている。			○	観察					
			・文章の構成や、文章の種類とその特徴について理解することができる。		・文章の構成や、文章の種類とその特徴について理解している。	○			記述内容 観察					
	書くときに使う	文章に説得力をもたせるには	110・111	・筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。	1	・筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。		○						

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学年との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
10	漢字の広場②	習った漢字	4年生で112	・第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	1	・第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	○			記述内容 観察			
				・物語の全体像を具体的に想像し、学習の見通しをもって、物語に対する思いや考えを積極的に伝え合おうとすることができる。	6	・物語の全体像を具体的に想像し、学習の見通しをもって、物語に対する思いや考えを積極的に伝え合おうとしている。			○	観察	・登場人物の会話や行動から、登場人物どうしの関わりを読むこと。(小5) ・物語の全体像から考えたことを伝え合うこと。(小5)	・人物の様子や行動を表す言葉、会話文などから、その人物のものの見方や考え方を想像すること。(小6) ・登場人物のものの見方や考え方から、物語が伝えようとしていることは何か語り合うなどして、読みを広げること。(小6)	
				・思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使い語彙を豊かにすることができる。		・「たずねびと」を読んで、「綾」の特に心情を表す語に着目し、語彙を豊かにしている。	○			記述内容			
				・人物像や物語などの全体像を具体的に想像することができる。		・「綾」の行動や会話、様子などを表している叙述を結び付けながら、人物像や心情の変化を具体的に想像している。			○	記述内容			
				・文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。		・物語を読んでまとめた感想を伝え合い、物語に対する感想や感想をもつ着眼点について、考えを広げている。			○	記述内容			
	物語の全体像をとらえ、考えたことを伝え合おう	たずねびと	113～130	・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。		・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。			○	観察			
				・第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	1	・第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	○			記述内容 観察			
				・共通語と方言との違いを理解することができる。	1	・共通語と方言との違いを理解している。	○			記述内容 観察			
				・親しみやすい古文や近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。	1	・親しみやすい古文や俳句を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。	○			観察			
				・話し手の目的や自分が聞こうとすることができ、意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。	5	・互いの立場や意図を明確にしなが、学習の見通しをもって、身の回りの問題を解決するために進んで話し合おうとしている。			○	観察	・声の大きさや間の取り方などに気を付けて、大事なことが伝わるように話すこと。(小4) ・出された意見を黒板などで整理しながら進行すること。(小4) ・自分の立場を明らかにして、積極的に発言したり質問したりすること。(小4)	・目的や条件に応じて、計画的に話し合うこと。(小6) ・たがいの考えをよく聞き、問題点を見付けること。(小6) ・考えを広げる話し合いと、まとめる話し合いをくり返して、結論に向かうこと。(小6)	
	たがいの立場を明確にして、話し合おう	よりよい学校生活のために／意見が対立したときには	136～143	・情報と情報との関係付けの仕方を理解し、使うことができる。		・情報と情報との関連付けの仕方を理解し、話し合いの内容を整理している。	○			観察			
				・目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができる。		・「よりよい学校生活のために」という目的に応じて、解決したい身近な課題から議題を決めている。			○	観察 記述内容			
				・互いの立場や意図を明確にしなが、計画的に話し合い、考えを広げたりまとめることができる。		・互いの立場や意図を明確にしなが、計画的に話し合い、考えを広げたりまとめることができる。			○	観察			
				・話し手の目的や自分が聞こうとすることができ、意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。		・話し手の目的や自分が聞こうとすることができ、意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。			○	記述内容			
				・第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	1	・第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	○			記述内容 観察			

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学年との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
11	古典に親しもう	浦島太郎	144・145	・古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知ることができる。	1	・古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知っている。	○			観察 記述内容			
		和語・漢語・外来語	146～148	・語句の由来などに関心をもつとともに、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解することができる。	2	・語句の由来などに関心をもつとともに、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。	○			観察 記述内容			
	資料を用いた文章の効果を考え、それをいかして書こう	固有種が教えてくれること／自然環境を守るために	149～165	・文章と図表などを結び付けて読み、学習の見通しをもって、読み取った筆者の工夫をいかして、統計資料を用いた意見文を粘り強く書こうとすることができる。	9	・文章と図表などを結び付けて読み、学習の見通しをもって、読み取った筆者の工夫をいかして、統計資料を用いた意見文を粘り強く書こうとしている。			○	観察	・構成に着目し、要旨を捉えること。(小5) ・図表などを用いることで伝えたいことを分かりやすく示したり、説得力をもつて伝えたりすること。(小5)	・筆者の主張や挙げられた事例について、自分の経験や知識と関係付けながら読むこと。(小6) ・絵や写真などと文章との組み合わせを工夫して、読み手を引きつけること。(小6)	
				・情報と情報との関係付けの仕方を理解し、使うことができる。		・図表と文章との関係付けの仕方を理解し、考えとそれを裏付ける図表とを対応させて文章を書いている。	○			記述内容 観察			
				・文章の種類とその特徴について理解することができる。		・双括型の文章構成や意見文の特徴を理解している。	○			観察 記述内容			
				・図表が用いられた本を読み広げ、効果的な資料の用い方や説明の仕方を考えることができる。		・図表が用いられた本を読み広げ、効果的な資料の用い方や説明の仕方を考えている。	○			観察 記述内容			
				・引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。		・図表を効果的に用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。		○		記述内容			
				・目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。		・目的や意図に応じて、意見文に示す事例や図表等と意見とを区別するなど書き表し方を工夫している。		○		記述内容			
				・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすることができる。		・文章中の図表と文章を結び付けながら読み、筆者の考えを読み取ったり、論の進め方を考えたりしている。		○		観察 記述内容			
				・事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。		・事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。		○		記述内容			
	声に出して楽しもう	カンジ博士の暗号解読	166・167	・第5学年までに配当されている漢字を読んだり、文や文章の中で使ったりすることができる。	1	・第5学年で学習した漢字を文や文章の中で使っている。	○			記述内容 観察			
		古典の世界(二)	168・169	・親しみやすい漢文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。	1	・教科書に載っている漢文を音読して、現代語とは違う言葉の響きやリズムに親しんでいる。	○			観察			

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学年との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
	漢字の広場④	4年生で習った漢字	170	・第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	1	・第4学年までに学習した漢字を使って文章を書いている。	○			記述内容			
	伝記を読んで、自分の生き方について考えよう	やなせたかしーアンパンマンの勇氣	171～183	・文章を読んで理解したことに基いて自分の考えをまとめ、学習課題に沿って、考えたことを積極的に交流しようすることができる。	5	・文章を読んで理解したことに基いて自分の考えをまとめ、学習課題に沿って、考えたことを積極的に交流しようとしている。			○	観察	・自分とは違う感想や考えについて、違いはどこからきているのか、他の人の感じ方のよさは何かなどを考えることで、読んだ文章への理解を深めること。(小4)	・登場人物のものの見方や考え方から、物語が伝えようとしていることは何か語り合うなどして、読みを広げること。(小6)	
				・文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめることができる。		・文章を読んで、「たかし」の考え方や生き方について考えたことに基づき、自分の生き方に対する考えをまとめている。			○	記述内容			
				・文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。		・伝記を読んで考えたことを友達と伝え合うことで、自分の考えを広げている。			○	記述内容			
	意見文を書いて読み合い、よいところを見つけよう	あなたは、どう考える	184～189	・自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって、意見文を粘り強く書くことができる。	5	・自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって、意見文を粘り強く書くことができる。			○	観察	・一人で考えたり、友達と話したりして、何について書くかを決めること。(小4)	・現状や問題点を整理し、提案の理由を明確にした文章を書くこと。(小6)	
				・目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができる。		・目的や意図に応じて、自分の関心のあることから書くことを選び、考えと根拠を関係付けるなどして、伝えたいことを明確にしている。			○	観察 記述内容	・書くもののことを、短い言葉や文でメモし、伝えたいことの中心を明らかにすること。(小4)		【1時間代替】 第13回-① P. 84-86
				・目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。		・目的や意図に応じて、事実と意見とを区別したり、予想される反論を想定したりするなどして、説得力を高めるよう書き表し方を工夫している。			○	記述内容	・理由や例と、伝えたいこととの関わりが分かるように書くこと。(小4)		
	季節の言葉4	冬の朝	190・191	・親しみやすい古文や近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。	1	・親しみやすい古文や俳句を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。	○			記述内容 観察			
1	詩の楽しみ方を見よう	好きな詩のよさ	192・193	・比喩や反復などの表現の工夫に気付くことができる。	2	・比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。	○			記述内容 観察			
				・詩の全体像などを具体的に想像したり、詩の表現の効果を考えたりすることができる。		・教科書の詩を読み、詩の全体像を具体的に想像したり、比喩表現などの効果を考えたりしている。			○	観察 記述内容			
	書くときに使おう	言葉でスケッチ	194・195	・目的や意図に応じて事実と感想とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。	1	・目的や意図に応じて事実と感想とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。			○				

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学年との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
		読み方の	196・197	・第5学年までに配当されている漢字を読むことができる。	1	・第5学年までに配当されている漢字を読んでいる。	○			記述内容観察			
	漢字の広場⑤	4年生で習った漢字	198	・第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	1	・第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	○			記述内容観察			
	事例と意見の関係を合おう	想像力のスイッチを入れよう	199～210	・意見や感想を共有して、自分の考えを広げ、学習の見通しをもって、メディアとの関わり方について積極的に話し合おうとすることができる。	5	・意見や感想を共有して、自分の考えを広げ、学習の見通しをもって、メディアとの関わり方について積極的に話し合おうとしている。			○	観察	・自分の知識や経験と重ねながら読むこと。(小5) ・筆者の考えと事例が、どのように結び付いているかを整理しながら読むこと。(小5) ・読んだ感想や考えを伝え合い、互いの感じ方の違いを明らかにすることで、新たなものの見方・考え方に出会うこと。(小5)	・筆者の主張や挙げられた事例について、自分の経験や知識と関係付けながら読むこと。(小6) ・筆者の考えと伝えたいこと、絵などの資料の使い方との関わりを考えて読むこと。(小6) ・さまざまな人や文章と対話し、その考えにふれることで自分の考えが深まること。(小6)	
				・文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。		・メディアとの関わりについての考えを伝え合うことで、自分の考えを広げている。		○		記述内容			
				・事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。		・複数の事例と筆者の考えとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。		○		記述内容			
				・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。		・読んで理解したことに基づいて、メディアとの関わりについての自分の考えをまとめている。		○		記述内容			
		複合語	211・212	・語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすることができる。	2	・2つ以上の言葉が結び付いて複合語になるとき発音や音の高さが変わる言葉があることを理解し、語彙を豊かにしている。	○			記述内容観察			
2	言葉について考えよう	言葉を使い分けよう	213～216	・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。	2	・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。	○			記述内容観察			
				・言葉には相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くことができる。		・相手や意図によって言葉や表現を変えることで、自分の伝えたいことがより伝わることを理解している。	○			観察			
	読む人を意識して構成を考え、物語を書こう	もう一つの物語	217～221	・粘り強く文章全体の構成や展開を考え、学習の見通しをもって物語を書こうとすることができる。	6	・粘り強く文章全体の構成や展開を考え、学習の見通しをもって物語を書こうとしている。			○	観察	・登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること。(小4) ・書いたものを読み返し、よりよい言葉や言い方がないかを考え、書いたものを整えること。(小4)	・どのような形式や表現を使うと、思いがよく伝わるのかを考えること。(小6)	
				・話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。		・話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。	○			記述内容観察			
				・筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。		・筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。		○		記述内容			
				・物語の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができる。		・物語の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。		○		観察 記述内容			

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学年との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
3	事実と感想、意見とを区別して、説得力のある提案をしよう	「こども未来科」で何をする	222～226	・学習の見通しをもち、話の構成を考え、進んで提案するスピーチをしようすることができる。	6	・学習の見通しをもち、話の構成を考え、進んで提案するスピーチをしようとしている。			○	観察	・伝えたいことに合う理由や資料を用意すること。(小4) ・声の大きさや間の取り方などに気を付けて、大事なことが伝わるように話すこと。(小4) ・表やグラフなど資料を見せながら話すこと。(小4)	・聞いて、考えを深めること。(小6) ・目的や条件に応じて、計画的に話し合うこと。(小6) ・資料を使って、自分の考えや思いを効果的に伝えること。(小6)	【1時間代替】 第7回-① P. 34-35
				・言葉には相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くことができる。		・言葉の使い方について自分の意見を考えたり、提案したりすることを通して、言葉には相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。	○			観察 記述内容			
				・思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うことができる。		・思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使っている。	○			観察 記述内容			
				・話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えることができる。		・話の内容が明確になるように、提案内容と提案の根拠となる情報とを区別するなど、説得力のあるスピーチの構成を考えている。		○		記述内容			
				・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。		・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。		○		観察			
	登場人物の心情の変化に着目して読み、物語のみりよくを伝え合おう	大造じいさんとガン	227～248	・表現の効果を考え、学習の見通しをもって、物語の魅力を進んでまとめようすることができる。	6	・表現の効果を考え、学習の見通しをもって、物語の魅力を進んでまとめようとしている。			○	観察	・登場人物の会話や行動から、登場人物どうしの関わりを読むこと。(小5) ・物語の全体像から考えたことを伝え合うこと。(小5)	・自分と比べながら読むことで、人物像を深く捉えること。(小6) ・周囲の人物が中心となる人物にどのような影響を与えたかなどについて語り合うことで、物語の読みを広げること。(小6)	
				・一番心に残った場面を、自分が感じたことが伝わるように朗読することができる。		・一番心に残った場面を、自分が感じたことが伝わるように朗読している。	○			観察			
				・登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる。		・行動や会話、情景描写などから、「大造じいさん」と「残雪」の関係や、「大造じいさん」の心情を捉えている。		○		記述内容			
				・人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。		・「大造じいさん」の「残雪」に対する見方の変化について具体的に想像したり、情景描写の効果について考えたりしている。		○		記述内容			
				・文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。		・文章を読んで考えたことを伝え合い、物語の魅力に対する自分の考えを広げている。		○		記述内容			
				・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。		・物語の魅力について、優れた表現に着目しながら、自分の考えをまとめている。		○		記述内容			
	漢字⑥の広場	習った漢字 4年生で	249	・第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	1	・第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	○			記述内容 観察			
		返って 5年生をふり	250	・目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。	1	・目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。		○					
		テスト		・テストをする。	12	・既習の内容を理解している。	○	○		ペーパーテスト			
総時間数(140時間)							代替時数						
代替時間を除いた総時間数 132時間													

小学校第6学年 国語科年間指導計画

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学年との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
4	言葉の準備運動	つないで、つないで、一つのお話	18・19	・進んで話の内容を捉えながら相手の話を聞き、これまでの学習をいかしてお話作りに取り組もうとすることができる。	1	・進んで話の内容を捉えながら相手の話を聞き、これまでの学習をいかしてお話作りに取り組もうとしている。			○	観察			
	詩を楽しむ	準備	20・21	・これまでに身に付けてきた音読の技能をいかして、詩を音読することができる。	1	・これまでに身に付けてきた音読の技能をいかして、詩を音読している。	○			観察			
	楽しく書く	伝えるかな、好きな食べ物／続けてみよう	22～24	・文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。	1	・文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。		○					
	視点や作品の構成に着目して読み、印象に残ったことを伝え合う	帰りの道	25～40	・視点の違いに着目して心情などを捉えて読み、学習の見通しをもって、進んで感想を書いて伝え合おうとすることができる。	5	・視点の違いに着目して心情などを捉えて読み、学習の見通しをもって、進んで感想を書いて伝え合おうとしている。			○	観察	・人物の関係を、言動や心情が分かる表現から捉えること。(小5) ・人物の関係が変化するきっかけとなる出来事に着目すること。(小5) ・言動や心情を表す複数の表現から、人物像を想像すること。(小5)	・冒頭と結末に着目して、人物の変化を捉えること。(中1)	【1時間代替】 第3回-① P. 104-105
				・自分の思いや考えが聞き手に伝わるように文章を音読することができる。		・自分の思いや考えが聞き手に伝わるように文章を音読している。	○			観察			
				・登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる。		・登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。		○		記述内容			
				・人物像や物語などの全体像を具体的に想像することができる。		・人物像や物語などの全体像を具体的に想像している。		○		記述内容			
	本は友達	公共図書館を活用しよう	41～43	・進んで公共図書館の役割や特徴について知り、学習課題に沿って利用してみたいものや本の記録のしかたについて考えようすることができる。	1	・進んで公共図書館の役割や特徴について知り、学習課題に沿って利用してみたいものや本の記録のしかたについて考えようとしている。			○	記述内容			
		漢字の音・意味	44・45	・漢字の由来、特質などについて理解することができる。	2	・漢字は、同じ部分をもつことで、音が同じであったり意味の上でつながりがあったりすることなどについて理解している。	○			記述内容			
	季節の言葉1	春のいぶき	46・47	・語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。	1	・語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。	○			記述内容			

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学年との関連	ことば探究科で代替			
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度							
5	インタビューをしながら聞く	聞いて、考えを深めよう	48～51	・互いの考えを比較しながら進んで話を聞き、学習の見通しをもって自分の考えをまとめようすることができる。	5	・互いの考えを比較しながら進んで話を聞き、学習の見通しをもって自分の考えをまとめようとしている。			○	観察	・相手の意図を捉えて、話の要点をまとめたり、内容を確認したりすること。(小5) ・目的や条件、進行計画に沿って話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。(小5)	・説明の要点や感想などをメモに取りながら聞き、交流の時間に積極的に発言すること。(中1)	【1時間代替】第1回-②			
				・文と文との接続の関係、話の構成や展開について理解することができる。		・文と文との接続の関係、話の構成や展開について理解している。	○			記述内容						
				・話し手の目的や自分が聞こうとすることができる意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。		・話し手の考えや自分が聞こうとする意見に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。		○		記述内容						
	漢字の広場①	5年生で習った漢字	52	・第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	1	・第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	○			記述内容			【1時間代替】第11回-②			
				主張と事例の関係をとらえ、自分の考えを伝え合おう		笑うから楽しい／時計の時間と心の時間／主張と事例	53～65	・主張と事例の関係を捉えて読み、学習課題に沿って自分の考えをまとめて、進んで発表しようとしている。	・主張と事例の関係を捉えて読み、学習課題に沿って自分の考えをまとめて、進んで発表しようとしている。			○		観察	・初めや終わりに書かれている筆者の考えから、要旨を捉えること。(小5) ・取り上げている事例や理由にも、筆者の考えが表れるということを理解すること。(小5) ・筆者の考えと事例や資料が、どう結び付いているかを整理しながら読むこと。(小5)	・段落の役割に着目して読むこと。(中1) ・事実と意見の関係に注意して読むこと。(中1)
								・原因と結果など、情報と情報との関係について理解することができる。	・原因と結果など、情報と情報との関係について理解している。	○				記述内容		
	・事実と感想、意見などの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。	・主張と事例の関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。			○				記述内容							
	6	主張と事例の関係をとらえ、自分の考えを伝え合おう	笑うから楽しい／時計の時間と心の時間／主張と事例	53～65	・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすることができる。	6	・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。		○		記述内容					
					・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。		・文章を読んで理解したことに基づいて、筆者の主張に対する考えをまとめている。		○		記述内容					
			文の組み立て	66・67	・文の中での語句の係り方や語順について理解することができる。	1	・文の中での語句の係り方や語順について理解している。	○			記述内容					
	表現を工夫して短歌を作り、読み合おう	たのしみは	68～71	・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。	3	・「五・七・五・七・七」の31音の語感やリズム、言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。	○			記述内容	・書いたものを読み返し、よりよい構成や表現がないかを考え、書いたものを整えること。(小5)					
				・構成や書き表し方などに着目して、短歌を整えることができる。		・構成や書き表し方などに着目して、短歌を整えている。		○		記述内容						
・短歌に対する感想や意見を伝え合い、自分の作品のよいところを見付けることができる。				・短歌に対する感想や意見を伝え合い、自分の作品のよいところを見付けている。			○		記述内容							

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学年との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
7	声に出して楽しもう 集めて整理して伝えよう	天地の文	72・73	・近代以降の文語調の文章を音読して、言葉の響きやリズムに親しむことができる。	1	・近代以降の文語調の文章を音読して、言葉の響きやリズムに親しんでいる。	○			観察 記述内容			
			74・75	・情報と情報との関係付けの仕方を理解し、使うことができる。	2	・情報と情報との関係付けの仕方を理解し、使っている。	○			観察 記述内容			
	構成を考えて、提案する文章を書こう	デジタル機器と私たち	76～81	・筋道の通った文章となるように、文章全体の構成を考え、学習の見通しをもって提案する文章を粘り強く書こうとすることができる。	7	・筋道の通った文章となるように、文章全体の構成を考え、学習の見通しをもって提案する文章を粘り強く書こうとしている。			○	観察	・どこに何が書かれているかが分りやすいように、段落の分け方を工夫すること。(小5) ・「初め」と「終わり」で自分の考えをはっきりと述べ、「中」でその理由や根拠を複数示すなどすると、説得力が増すということを理解すること。(小5)	・観点を立てて情報を集め、分類・整理すること。(中1) ・考えと事実を区別して、調べたことを正確に報告すること。(中1) ・調べたことを図表やグラフなどを活用して視覚的に示すこと。(中1)	
				・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。		・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。	○			記述内容			
				・目的や意図に応じて、考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができる。		・提案文を書くために、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。		○		記述内容			
				・筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。		・意図や内容が読み手に分りやすく伝わるように、文章全体の構成や展開を考えている。		○		記述内容			
				・目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。		・目的や意図に応じて具体的に書くとともに、段落や見出しに気を付けたり、箇条書きにしたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。		○		記述内容			
	季節の言葉2	夏のさかり	82・83	・語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。	1	・語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。	○			観察			
				・読書の役割についての理解を深め、これまでの読書生活を振り返って、進んでテーマに着目した本の交流をしようすることができる。	5	・読書の役割についての理解を深め、これまでの読書生活を振り返って、進んでテーマに着目した本の交流をしようとしている。			○	観察	・複数の本を読み、その作家の魅力を知ること。(小5) ・好きな作家に着目し、自分自身のことや、友達との共通点や異なる点に気付くこと。(小5)		
	本は友達	私と本／星空を届けたい	84～97	・日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くことができる。		・日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付いている。	○			観察 記述内容			
				・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。		・心に残った本がもつテーマに沿って、その本の魅力をまとめている。		○		記述内容			
				・文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。		・本との関わり方を共有することで、自分の考えを広げている。		○		記述内容			

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学年との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
9	詩を味わおう	せんねん名づけられた葉まんねん／	98～101	・反復などの表現の工夫に気付くことができる。	2	・反復などの表現の工夫に気付いている。	○			記述内容			
				・詩を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。		・詩を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。		○		記述内容			
	対話の練習	いちばんの大事な	102・103	・互いの立場や意図を明確にしなが話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。	1	・互いの立場や意図を明確にしなが話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。		○		観察 記述内容		・話題や方向を捉えて話し合うこと。(中1) ・意見と根拠を事前に整理して話し合うこと。(中1)	
	生活の中で読もう	インターネットでニュースを読もう	104～107	・進んでニュースサイトの特徴を理解し、これまでの学習をいかしてニュースサイトと新聞を比較して読もうとすることができる。	3	・進んでニュースサイトの特徴を理解し、これまでの学習をいかしてニュースサイトと新聞を比較して読もうとしている。			○	観察		・文章の構成に着目して読むこと。(中1)	
				・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。		・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。	○			記述内容			
				・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、考えたりすることができる。		・文章と図表を結び付けて必要な情報を見付けたり、項目ごとに分類された情報相互の関係を考えたりしている。		○		記述内容			
	書くときに使おう	文章を推敲しよう	108・109	・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。	2	・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。		○		記述内容			
	漢字の広場②	5年生で習った漢字	110	・第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	1	・第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	○			記述内容			
	作品の世界を想像しながら読み、考えたことを伝え合おう	やまなし／イーハトーヴの夢	111～134	・表現や構成等に着目して作品世界を捉えることに粘り強く取り組み、学習の見通しをもって自分の考えを書こうとすることができる。	7	・表現や構成等に着目して作品世界を捉えることに粘り強く取り組み、学習の見通しをもって自分の考えを書こうとしている。			○	観察	・心情を情景によって想像させるなど、さまざまな表現の工夫に着目して読むこと。(小5) ・自分の知識や経験と重ねながら読むことで、自分の考えを明確にすること。(小5)	・場面の展開に着目して、人物の変化を読み取ること。(中1) ・人物の行動や情景描写から心情を読み取ること。(中1)	
				・比喩や反復などの表現の工夫に気付くことができる。		・「かのにの会話や様子」「水や光の様子」などから、比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。	○			記述内容 観察			
				・人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。		・「やまなし」から谷川の様子が分かるところを見付け、簡単な絵や図に表したり、表現の効果を考えたりしている。		○		記述内容			
10				・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。		・「やまなし」を読んで理解したことに基づいて、作者がこの作品に込めた思いについて考えをまとめている。		○		記述内容			
	漢字の広場③	5年生で習った漢字	135	・第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	1	・第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	○			記述内容			

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学年との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
		熟語の成り立ち	136・137	・語句の構成や変化について理解することができる。	1	・語句の構成や変化について理解している。	○			記述内容			
		季節の言葉3	138・139	・語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に對する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。	1	・語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に對する感覚を意識して、語や語句を使っている。	○			記述内容			
		みんなで楽しく過ごするために／伝えにくいことを伝える	140～147	・言葉を通じて積極的に人と関わり、目的や条件に応じて、よりよい解決に向けて見通しをもって話し合おうとすることができる。	5	・言葉を通じて積極的に人と関わり、目的や条件に応じて、よりよい解決に向けて見通しをもって話し合おうとしている。			○	観察	・目的や条件、進行計画に沿って話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。(小5)	・順序や構成を考えて、分かりやすいスピーチにすること。(中1) ・聞き取りやすい声の大きさ、話す速さ、発音を心がけて話すこと。(中1) ・聞き手の反応を見ながら間を取ったり、視線や表情、身振りを工夫して話すこと。(中1)	
				・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くことができる。		・話し合うことを通して、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。	○			記述内容			
				・情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、使うことができる。		・情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、使っている。	○			記述内容			
				・目的に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することことができる。		・目的に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。		○		観察			
				・互いの立場を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。		・互いの立場を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。		○		観察 記述内容			
		話し言葉と書き言葉	148・149	・話し言葉と書き言葉との違いに気付くことができる。	1	・話し言葉と書き言葉との違いに気付いている。	○			観察 記述内容			
11	伝えられてきた文化	古典芸能の「世界／狂言」 「山」	150～154	・古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知ることができる。	2	昔から伝えられてきた「古典芸能」について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知っている。	○			記述内容			

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学年との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
	筆者の工夫をとらえて読み、それをいかして書く	『鳥獣戯画』を読む／発見、日本文化のみりよく	155～169	・粘り強く論の進め方について考えたり、書き表し方を工夫したりし、学習の見通しをもって日本文化のよさを伝える文章を書こうとすることができる。	9	・粘り強く論の進め方について考えたり、書き表し方を工夫したりし、学習の見通しをもって日本文化のよさを伝える文章を書こうとしている。			○	観察	・どこに何が書かれているかが分かりやすいように、段落の分け方を工夫すること。(小5) ・実際にあったことや、その記録(具体例・引用など)と自分の考えを区別して書くこと。(小5) ・写真や図表と文章とを対応させて書くこと。(小5)	・文章の要旨を捉えること。(中1) ・具体例を示すなど、根拠を明確にして伝えること。(中1)	
				・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。		・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。	○			記述内容			
				・比喩や反復などの表現の工夫に気付くことができる。		・比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。	○			記述内容			
				・筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。		・筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。		○		記述内容			
				・引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。		・引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。		○		記述内容			
				・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすることができる。		・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。		○		記述内容			
				・目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。		・目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。		○		記述内容			
				・事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。		・事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。		○		記述内容			
		カンジの博士の漢字学習	170・171	・第6学年までに配当されている漢字を読んだり、文や文章の中で使ったりすることができる。	1	・新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	○			記述内容			
				・文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くことができる。		・文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書いている。	○			記述内容			
12	漢字の広場④	5年生で習った漢字	172	・第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	1	・第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	○			記述内容			

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学年との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
	物語を読んで考え合おう	ぼくのブック・ウーマン	173～187	・進んで文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめ、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとすることができる。	4	・進んで文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめ、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。			○	観察 記述内容	・自分の知識や経験と重ねながら読むことで、自分の考えを明確にすること。(小5)	・場面の展開に着目して、人物の変化を読み取ること。(中1) ・人物の行動や情景描写から心情を読み取ること。(中1)	
				・人物像や物語などの全体像を具体的に想像することができる。		・人物像や物語などの全体像を具体的に想像している。		○		記述内容			
				・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。		・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。		○		記述内容			
	相手や目的を明確にして、すいせんする文章を書こう	おすすめパンフレットを作ろう	188・193	・進んで引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって推薦したいものをパンフレットにまとめようとしている。	5	・進んで引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって推薦したいものをパンフレットにまとめようとしている。			○	観察 記述内容	・引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。(小5) ・書いたものを読み返し、よりよい構成や表現がないかを考え、書いたものを整えること。(小5)	・観点を立てて情報を集め、分類・整理すること。(中1) ・考えと事実を区別して、調べたことを正確に報告すること。(中1) ・調べたことを図表やグラフなどを活用して視覚的に示すこと。(中1)	
				・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。		・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。	○						
				引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。		引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。			○				
				・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。		・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。			○				
	季節の言葉4	冬のおとずれ	194・195	・語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。	1	・語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。	○			記述内容			
1	詩の楽しみ方を見つかけよう	詩を朗読しようかいし	196・197	・自分が感じたことが伝わるように、詩を朗読することができる。 ・日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くことができる。	2	・自分が感じたことが伝わるように、詩を朗読している。 ・日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付いている。	○			記述内容 観察		【1時間代替】 第6回-① 【詩】ハンネス がない	
				・詩の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。		・詩の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。		○		記述内容			
	書くときに使おう	知ってほしい、この名言	198・199	・目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にすることができる。	1	・目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にしている。		○		記述内容			
		日本の文字文化／仮名づかい	200～203	・文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くことができる。 ・語句の由来などに関心をもち、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解することができる。	2	・文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書いている。 ・語句の由来などに関心をもち、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。	○			記述内容			

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学年との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
	⑤漢字の広場	5年生で習った漢字	204	・第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	1	・第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	○			記述内容			
			205～214	・粘り強く文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめ、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとすることができる。	5	・粘り強く文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめ、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。			○	観察	・初めや終わりに書かれている筆者の考えから、要旨を捉えること。(小5)	・文章の要旨を捉えること。(中1)	
				・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。		・文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。	○			記述内容			
				・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。		・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。		○		記述内容			
				・文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。		・文章を読んでまとめた意見をグループやクラスで共有し、自分の考えを広げている。		○		観察 記述内容			
	筆者の考えを読み取り、テーマについて考えを述べ合おう	「考える」とは	205～214										
		使える言葉にするために	215・216	・第6学年までに配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。	1	・第6学年までに配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。	○			観察 記述内容			
2	言葉について考えよう	日本語の特徴	217～220	・文の中での語句の係り方や語順について理解することができる。	2	・文の中での語句の係り方や語順について理解している。	○			観察 記述内容			
				・語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。		・語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。	○			観察 記述内容			
	経書きと表し方を工夫しよう	大切にしたい言葉	221～225	・自分の考えが伝わるように書き表し方を粘り強く吟味し、見通しをもって、大切にしたい言葉についての文章を書くことができる。	6	・自分の考えが伝わるように書き表し方を粘り強く吟味し、見通しをもって大切にしたい言葉についての文章を書くようにしている。			○	観察	・実際にあったことや、その記録(具体例・引用など)と自分の考えを区別して書くこと。(小5) ・写真や図表と文章とを対応させて書くこと。(小5) ・書いたものを読み返し、よりよい構成や表現がないかを考え、書いたものを整えること。(小5)		
				・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。		・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。	○			記述内容			
				・目的や意図に応じて書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができる。		・大切にしたい言葉と、それに結び付く経験について思い出し、伝えたいことを明確にしている。		○		記述内容			
				・目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。		・自分の経験と、そのときの自分の気持ちがよく伝わるように、詳しく書いたりふさわしい言葉を選んだりして、書き表し方を工夫している。		○		記述内容			
				・文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができる。		・文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。		○		観察 記述内容			

月	単元	教材名	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容	上級学年・中学年との関連	ことば探究科で代替
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
		の生物と		・文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。		・文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。		○		観察 記述内容			
		テスト		・テストをする。	12	・既習の内容を理解している。	○	○		ペーパーテスト			
総時間数(140時間)							代替時数						5
代替時間を除いた総時間数 135時間													